

# SHOWA テレスコープ（2022）



テレスコープ＝「望遠鏡」という意味。5年後の自分、10年後の自分ができる限り「なりたい自分」に向かって成長しているように、自分の将来をしっかりと見つめてほしいという願いが込められている。より高い自己実現を目指した昭和の進路学習をサポートする冊子。

# はじめに

進路指導部

自分が将来どのように生きていくのか、つまり、自分がどのように社会と関わるべきかを真剣に考えていくことはとても大切なことです。

「自分らしさ」を見つけ、それを活かしつつ、将来の「仕事」「職業」を選んでいくには、それを実現できる自分に最も適した進路（多くの人にとっては大学・学部・学科）を見極め、選択していくことが必要です。

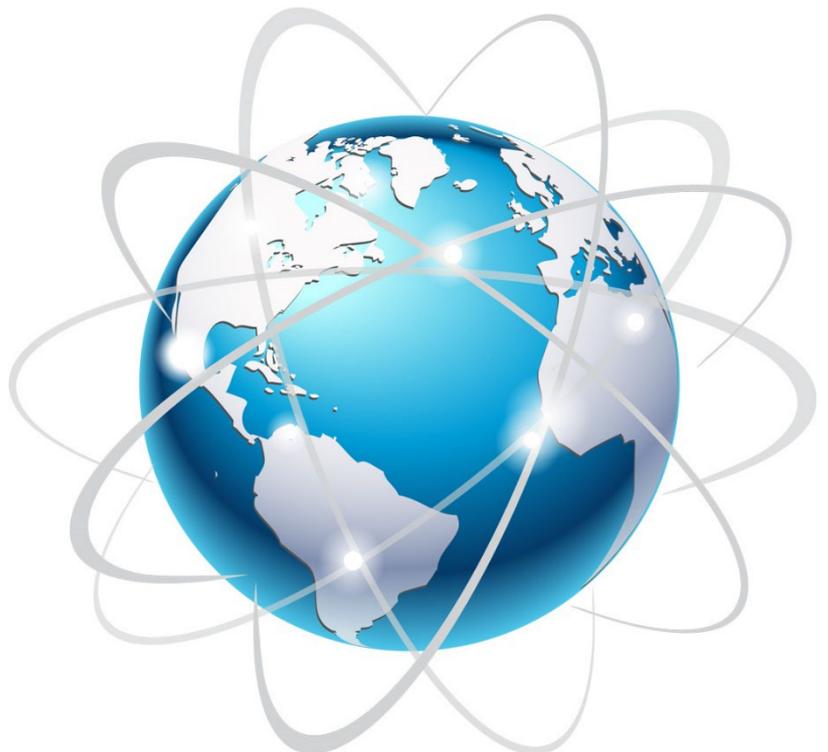
高等部へ進学すると、いよいよ自分の進路に向けての準備が本格的になります。

今の大学入試は、学校推薦型選抜や一般選抜のどちらにしても多様化の方向をたどっています。

そのため十分に時間をかけて早い時期から入試制度のしくみや、その長所と短所をよく理解して対策を立てる必要があります。

この冊子は高等部での進路指導の全体を見通しながら、その学年、時期に応じてどのような活動や学習をしていけばいいのかを考えるために作りました。そのため「テレスコープ」と名付けました。

ぜひ、この冊子を十分に活用して、よりよい進路選択、そして自分の将来につながる力を身につけてください。



## <目次>

A. カリキュラムデザイン	1
B. 中等部進路指導の流れ	2
C. 高等部での学習への取り組み	3
◆ 調査書について	
◆ 進路指導室の使い方	
◆ 自習室の使い方	
D. 高等部進路指導の流れ	8
E. 5年生必修・選択科目について	9
・ 選択科目一覧・選択科目の組み合わせ例	
・ 5修生制度について 5修生決定への道（フローチャート）	
F. 6年生必修・選択科目について	26
選択科目一覧・選択科目の組み合わせ例	
G. 大学入試について	36
大学入試制度	
H. 6年生の大学決定への道（フローチャート）	41
1. 昭和女子大学第1志望（評定平均等の内部選考基準を満たしている場合）	
2. 昭和女子大学第1志望（評定平均等の内部選考基準を満たしていない場合）	
3. 他大学+昭和（併願）	
4. 他大学専願（推薦+一般選抜希望）	
5. 他大学専願（一般選抜希望）	
I. 推薦・総合型選抜等の指導事項	46
1. 昭和女子大学の学内推薦について	
2. 指定校推薦について	
3. 学校推薦について	
4. 総合型選抜に関する規定	
J. 昭和女子大学 学内推薦制度 推薦基準	47
出願基準（全学科共通）	
K. 昭和女子大学 学部・学科説明	48
大学案内の抜粋	
L. 合格体験記 ～卒業生からのメッセージ～	51
M. 巻末資料	89
◆ 特別協定校	
◆ おもな指定校推薦一覧	
◆ 進路学習参考図書を紹介	

## — A. カリキュラムデザイン —

### ■ 育成する資質・能力

育成する資質・能力	資質・能力の説明
自己分析力・自己管理能力	自身の資質・能力を見極め、目標を明確にする。目標に向かって自己を律して励む。
主体性・実行力	自ら進んで他者や社会と関わり、学びを深める。目標実現のために必要な活動を見だし、実践する。
思考力・判断力	深い教養と知識に裏打ちされた想像力・創造力をもって、最適な進路選択をする。

### ■ 各学年の重点指導方針

中学校			高等学校		
1年	前期	学習習慣・生活習慣の確立。今の自分に必要な学習が何かを自ら考え取り組む主体性・主体的実行力を養う。	4年	前期	高校生として学習スタイルを理解し、文系理系の進路選択に向け、各自が希望する進路についての適正を考える。
	後期	さまざまな職業に対する情報収集。興味をもった仕事については追究する行動力を高める。		後期	高校の学習活動を定着させ、かつ、オープンキャンパスなどを利用し、希望する方向性をより具体的に考える。
2年	前期	身近な人の職業を調べることを通して、将来に向けて具体的な学習目標を設定し、基礎学力の充実を図る。	5年	前期	志望校の研究と具体化。思考力・判断力・表現力や主体性などの資質・能力を養う。
	後期	自分史を作成し、自己を見つめ、他社理解を深める。		後期	志望校の明確化。思考力・判断力・表現力や主体性などの資質・能力を高める。
3年	前期	自主的かつ責任ある行動を身に付け、職業観や将来の生き方について考える。	6年	前期	志望校の検討、決定。自身の資質・能力を的確に見極め、将来への展望を明らかにする。
	後期	規範意識を高め、高等部進学の意味、社会における自分の役割を考える。		後期	志望校を決定し、思考力・判断力・表現力などの能力を確実に高め、進学先を決める。社会の中で自分らしく、個々の役割を果たしていく。



## — B. 中等部進路指導の流れ —

	1 年生	2 年生	3 年生
指 針	<b>■自分の土台を形成する</b> ・ 自学自習の土台を築く ・ 新しい環境での学習習慣・生活習慣の確立 ・ 世の中にどんな仕事があるか調べ、興味をもった仕事については調べる	<b>■自己を見つめ、他者を理解する</b> ・ 基礎学力の充実 ・ 他者理解を深める ・ 具体的な学習目標を設定し、実行する	<b>■社会への興味・関心を高める</b> ・ 自覚と責任をもって行動する力を身につける ・ 将来の生き方について考える ・ 社会における自分の役割を考える
外部模試	・ ※ <sup>1</sup> 学力推移調査 (4 月) ・ ※ <sup>1</sup> 学力推移調査 (9 月)	・ ※ <sup>1</sup> 学力推移調査 (4 月) ・ ※ <sup>1</sup> 学力推移調査 (9 月)	・ ※ <sup>1</sup> 学力推移調査 (4 月) ・ ※ <sup>1</sup> 学力推移調査 (9 月)
進路指導の具体的な活動	・ 年度初め保護者の集い (4 月) ・ 保護者対象進路講演会 (5 月) ・ 前期末保護者の集い (7 月) ・ 親子面接 (7 月) ・ 「職業調べ」作成 (夏休み) ・ 「未来の私を考える」作成 (冬休み) ・ 学年末保護者の集い (3 月)	・ 年度初め保護者の集い (4 月) ・ 保護者対象進路講演会 (5 月) ・ 前期末保護者の集い (7 月) ・ 親子面接 (7 月) ・ ※ <sup>2</sup> 「自分史」作成 (冬休み) ・ 経済同友会出張授業 (1 月) ・ 学年末保護者の集い (3 月)	・ 年度初め保護者の集い (4 月) ・ 保護者対象進路講演会 (5 月) ・ 前期末保護者の集い (7 月) ・ 親子面接 (7 月) ・ 昭和女子大学体験授業 (3 月) ・ 学年末保護者の集い (3 月) ・ ※ <sup>3</sup> 昭和大学説明会

※<sup>1</sup> 学力とその形成要因である学習習慣・意識・生活状況について継続的に測定することで、時期に応じた生徒の課題解決をサポートする教材を活用しています。様々な角度から生徒の資質を把握し、また、生徒たちは自らを鑑みることが可能です。

※<sup>2</sup> 趣味、人との関わり、将来に対する夢や希望を中心に「自分史」を作成し、精神的な基盤を作ります。

※<sup>3</sup> 特別協定校である昭和大学の説明会を行います。医療系総合大学である昭和大学の説明を受けることで、真に学びたいと志す分野について理解し、進学する大学・学部を決定する一助となるはずです。



## — C. 高等部での学習への取り組み —

### ◎ 普段の授業を大切にしましょう。

4年からの評定平均が大学合格の判定資料になります。高等部に進んでからの普段の授業を大切に  
して、一步一步着実に力をつけていきましょう。

### ◎ 選択科目を慎重に選びましょう。

5、6年の選択科目は自分の進路希望に合わせて慎重に選ぶ必要があります。大学入試は3年計画で  
考え、先を見ながら他人と相談するのではなく、自分で選択科目を決めていきましょう。

### ■ 調査書について

大学への出願書類は入試形態（推薦・一般）に関わらず、『調査書』がほとんどの場合で必要となる。調  
査書の記載事項は以下の内容である。

1. 氏名
2. 各教科・科目等の学習の記録（5段階成績）
3. 各教科の**※評定平均値**
4. 学習成績概評（評定平均値の5段階区分）  
A : 5.0 ~ 4.3    B : 4.2 ~ 3.5    C : 3.4 ~ 2.7    D : 2.6 ~ 1.9    E : 1.8 以下
5. 出欠の記録
6. 特別活動の記録（光葉会委員、所属クラブ、行事の実行委員等）
7. 指導上参考となる諸事情  
（学習や生活行動の特徴、部活動、ボランティア活動、取得資格、検定、進路希望等）
8. 総合的な学習の時間の内容・評価  
（昭和祭研究、私の研究のテーマ、活動の様子）
9. 備考

#### ※評定平均値

- ・各教科の評定平均値…教科ごとに、履修した科目の成績を加えて合計数を出し、その数を科目数で割っ  
た数値（小数点以下第2位を四捨五入）
- ・全体の評定平均値…高校3年間のすべての教科・科目の成績を加えて合計し、それを加算したすべての  
科目数で割った数値（小数点以下第2位を四捨五入）

→ 各大学の推薦入試では、推薦基準の中に、この評定平均値が示されていることが多い。



# 調 査 書

1 / 4

第 号

※		※			※		※							
1. ふりがな氏名		年 月 日生			性別	現住所								
					女									
学校名	私立	昭和女子大学附属昭和高等学校			年 月 入 学									
全日制	普通科			年 月 卒 業										
2. 各教科・科目等の学習の記録														
教科・科目		評 定			修得単位数計	教科・科目		評 定			修得単位数計			
		第1学年	第2学年	第3学年				第1学年	第2学年	第3学年				
教科	科目					教科	科目							
国語	国語総合	4			5									
	現代文B		4	4	7									
	古典A		3		2									
	古典B			4	4									
地理歴史	世界史A	4			2									
	日本史A		3		2									
	日本史B			3	4									
公民	現代社会	4			2									
数学	数学I	4			4									
	数学II		3		4									
	数学A	4			2									
	数学B		4		3									
理科	物理基礎	4			2									
	物理		2		4									
	化学基礎	4			2									
	生物基礎		3		2									
保健体育	体育	5	5	5	7									
	保健	4	3		2									
芸術	美術I	3			2									
外国語	韓国語			5	2									
	英語演習D			4	4									
	コミュニケーション英語I	4			5									
	コミュニケーション英語II		3		4									
	コミュニケーション英語III			4	5									
	英語表現I	3		5	2									
	英語会話		4		2									
外国語基礎		3		2										
総合的な学習の時間	4			2				総合的な学習の時間単位数	/	/	/	5		
留 学								留 学	/	/	/	0		
計								計	/	/	/	95		
3. 各学習状況		教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報	全体の学習成績の状況	
		学習成績の状況	3.8	3.3	4.0	3.8	3.3	4.4	3.0	4.0	3.0	4.0	3.8	
		教科												
		学習成績の状況											3.8	
4. 学習成績概評		成 績 段 階 別 人 数												
		段階	A	人	B	人	C	人	D	人	E	人	合計	( ) 人
														人

各教科の評定平均値の例  
 (外国語)  
 $(4+3+3+4+5+4+4+5) \div 8 = 4.0$

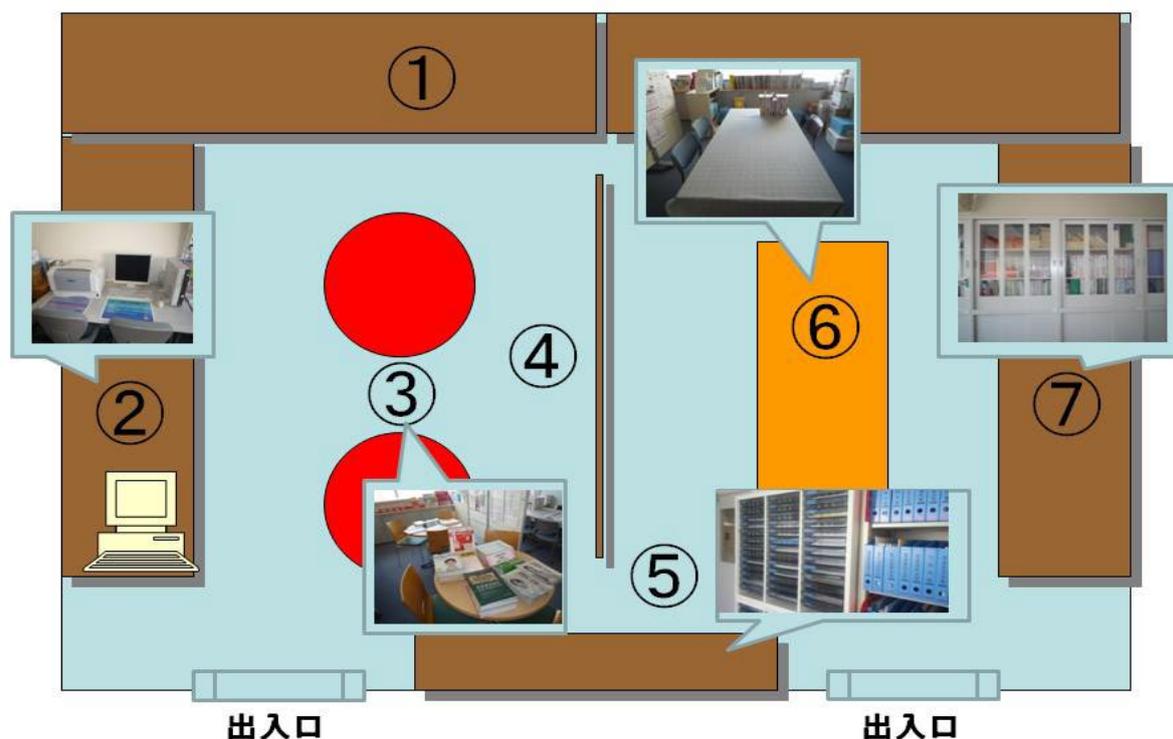
A、B、C、D、E  
 5段階



5. 総合的 学習 の 内容 ・ 評価	活動 内容						
	評価						
6. 特 長 事 項 の 記 録	第 1 学 年		第 2 学 年		第 3 学 年		
7. 指 導 上 参 考 と な る 課 事 項	第 1 学 年	(1) 学習における特徴等	(2) 行動の特徴、特技等		(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等		
		(4) 取得資格、検定等	(5) 表彰・顕彰等の記録		(6) その他		
	第 2 学 年	(1) 学習における特徴等	(2) 行動の特徴、特技等		(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等		
		(4) 取得資格、検定等	(5) 表彰・顕彰等の記録		(6) その他		
	第 3 学 年	(1) 学習における特徴等	(2) 行動の特徴、特技等		(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等		
		(4) 取得資格、検定等	(5) 表彰・顕彰等の記録		(6) その他		
8. 備 考							
9. 出欠の記録							
区分	学年			学年			
	1	2	3	1	2	3	
授業日数				欠席日数			
出席停止・足引き等の日数				出席日数			
留学中の授業日数				備 考			
出席しなければならぬ日数							
この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する 令和4年12月21日 学 校 名 昭和女子大学附属昭和高等学校 所 在 地 〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57 校 長 名 印 記載責任者職氏名 教諭 印							



## ◆ <進路指導室（2号館 1階ロビー）の使い方>



図中の番号と対応しています

↓

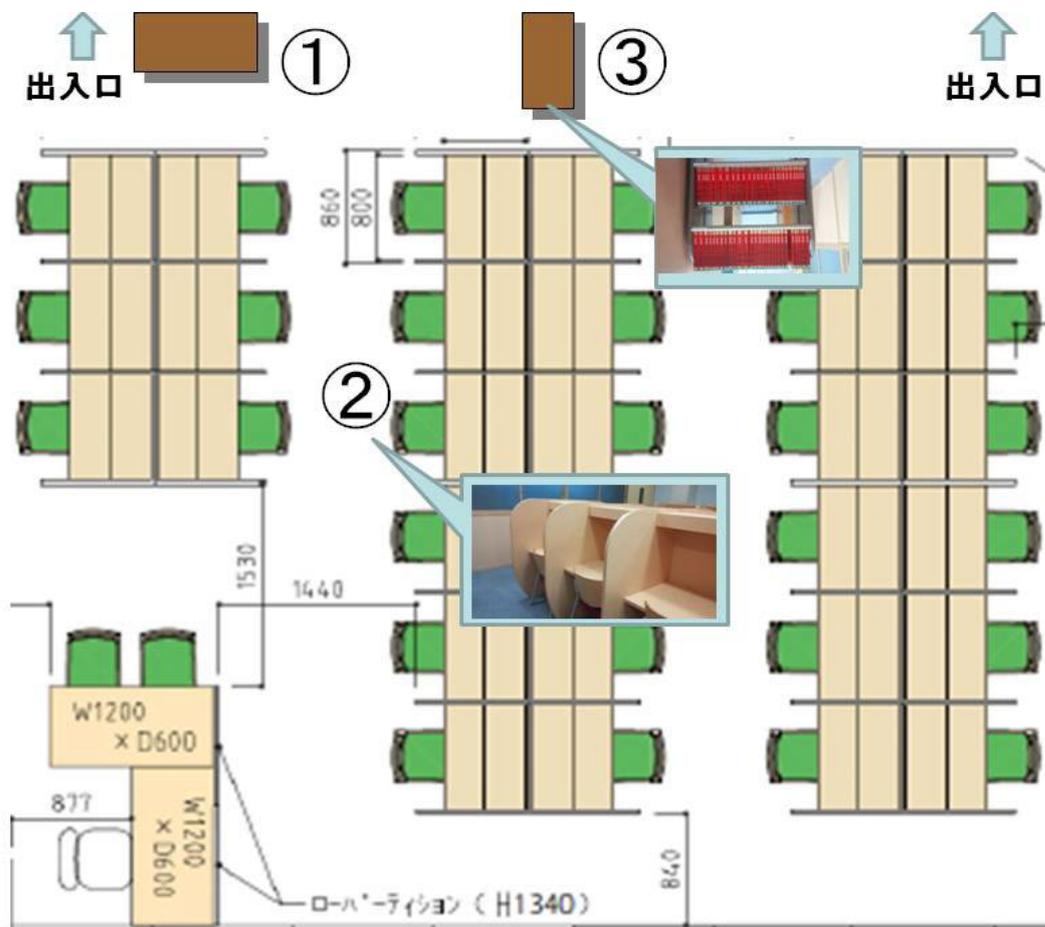
- ① 大学入試情報の冊子・パンフレット（欲しいものは自由に持ち帰ることができます）
- ② パソコン情報端末（各自の ID を使ってアクセスできます。インターネットを利用して進路に関する情報を調べることができます）
- ③ 丸テーブル（進路相談に使えます。机上の大学案内や入試情報冊子等は持ち帰り自由です）
- ④ 掲示板（大学オープンキャンパス案内・大学偏差値一覧等が掲示されています）
- ⑤ 首都圏の主な大学の学校案内（個々の大学のパンフレットが 50 音順にレターケースに入っています。自由に閲覧できます）
- ⑥ テーブル（進路相談や色々な冊子や入試問題を見るときに利用できます）
- ⑦ 本棚（色々な大学の過去の入試問題等が保管してあります。閲覧したい人は進路指導部の先生に申し出てください）

### ■ 進路指導室の使い方のルール

- ・進路相談・進路に関する調べもののために使いましょう。
- ・部屋の出入りは自由ですが、用事が終わったら速やかに退室しましょう。
- ・質問や相談は各学年の進路指導部の先生に尋ねてください。
- ・パソコンの印刷は、進路指導部の先生に許可をもらってください。
- ・飲食厳禁です。
- ・お互いに譲り合って使用しましょう。



## ◆ <自習室（東館 1階）の使い方>



図中の番号と対応しています



- ① 使用記録簿に自習室に入室と退室の時間を記入します。
- ② 個別のブースに分かれた席が 30 席あります。
- ③ ブックスタンドに入試問題集（赤本等）が置いてあります。自由に利用できます。

### ■ 閉室時間

- ・ 授業のある日： 7：00 ～ 7：40 終礼後 ～※16：20 まで
  - ・ 1 ～ 2 月（6 年自宅学習期間中）： 8：20 ～※16：20 まで
  - ・ 長期休暇中（夏休み・冬休み）： 9：00 ～ 16：00 まで
- ※ 下校時延長証があれば 17：10 まで  
※ 下校時延長証があれば 17：10 まで

### ■ 自習室の使い方のルール

- ・ 高校生（4 年生の 2 月～）が利用できます。
- ・ 私語厳禁です。
- ・ 飲食は水分補給程度可能です。
- ・ 使用した席はきれいにして帰りましょう。



## — D. 高等部進路指導の流れ —

学年	時期	進路指導の具体的な活動	定期試験 (◎) 模擬試験等 (◆)	進路・選択科目調査
4年	7月まで	◆進路ガイダンス (4月) ◇年度初め保護者の集い (4月) ◆昭和女子大学学科説明会 (6月) ◇親子面接 (7月)	◆スタディサポート① (4月) ◎前期中間考査 (5月) ◆全統高1模試① (5月) ◎前期末考査 (7月)	◆進路希望調査 (親子面接資料)
	夏休み	◆大学オープンキャンパス 〔2大学以上参加、レポート〕		
	9月以降	◆昭和女子大学体験授業 (9月) 〔2講座参加、レポート〕 ◆5年次選択科目説明会 (10月) ◆次年度学内推薦基準発表 (2月) ◆社会人出張授業 (3月) ◇学年末保護者の集い (3月)	◆小論文模試 (9月) ◆スタディサポート② (10月) ◆全統高1模試② (10月) ◎後期中間考査 (12月) ◆全統高1模試③ (1月) ◎学年末考査 (3月)	◆5年次選択科目申込進路アンケート (12月)
5年	7月まで	◆5修生進路相談会 ◆進路ガイダンス (4月) ◇年度初め保護者の集い (4月) ◇親子面接 (7月)	◆スタディサポート① (4月) ◎前期中間考査 (5月) ◆全統高2模試① (5月) ◎前期末考査 (7月)	◆進路希望調査① (親子面接資料)
	夏休み	◆大学オープンキャンパス 〔2大学以上参加、レポート〕	◆小論文模試<希望者> (8月)	
	9月以降	◆昭和女子大学体験授業 (9月) 〔2講座参加、レポート提出〕 ◆夢ナビ (7月・10月) ◆6年次選択科目説明会 (10月) ◇保護者進路ガイダンス (10月) ◆5修生合格内定 (2月) ◆次年度学内推薦基準発表 (2月) ◇学年末保護者の集い (3月) 〔5修生保護者ガイダンス〕	◆小論文模試<希望者> (9月) ◆全統高2模試② (10月) ◎後期中間考査 (12月) ◆大学入学共通テスト体験受験 (1月) ◆全統記述高2模試③ (1月) ◎学年末考査 (3月) ◆スタディサポート (3月)	◆進路希望調査② (10月) ◆進路希望調査③ (12月) [6年・5修生希望調査] ◆6年次選択科目申込進路アンケート (12月) ◆5修生学内推薦志願書提出 (1月) ◆5修生学内推薦自己報告書提出 (1月)
6年	7月まで	◇年度初め保護者の集い (4月) 〔保護者進路ガイダンス〕 ◆進路ガイダンス (4月) ◆卒業生合格体験講演会 ◇親子面接<希望者> (4月～) ◆進学相談会 (6月) ◆大学オープンキャンパス (6月) 〔総合型選抜相談会〕 ◇親子面接 (6月) ◇前期末保護者の集い (7月)	◆ベネッセ記述模試 (4月) ◆小論文模試<希望者> (4月) ◎前期中間考査 (5月) ◆ベネッセマーク模試 (6月) ◆小論文模試<希望者> (6月) ◎前期末考査 (7月)	◆進路希望調査① (4月) ◆進路希望調査② (5月) [第1志望届]
	夏休み	◆志望大学オープンキャンパス ☆総合型選抜 ◆小論文指導 (個別)	◆小論文模試<希望者> (8月)	
	9月以降	◆共通テスト説明会 (9月) ☆指定校・公募推薦者決定 (9月) ◆学内推薦希望者説明会 (9月) ☆共通テスト出願 (10月) ☆指定校・学校推薦型選抜 (10月～) ◆学内推薦内定発表 (11月) ☆大学入学共通テスト試験 (1月) ☆共通テストリサーチ (1月) ☆私立大一般選抜 (1月～) ☆国立大一般選抜 (2月～)	◆ベネッセマーク模試 (9月) ◆小論文模試<希望者> (9月) ◆ベネッセ・駿台記述模試 (10月) ◎卒業考査 (12月)	◆指定校・公募推薦希望届提出 (9月) ◆最終進路希望調査③ (10月) ◆学内推薦志願書提出 (10月) ◆学内推薦自己報告書提出 (10月)



## — E. 2022年度 5年生 本科コース 必修・選択科目について —

5年生での選択科目は、進路に深くかかわってきます。この時期に自分の進路についてよく考え、5年生の選択科目について決めましょう。昭和女子大学の授業参加学生（5修生）を希望しているのか、6年生に残り他大学を目指すのか、内部進学を目指すのか、文系か理系かなどさまざまな進路が考えられます。自分の進路に合わせた選択科目を5年次だけでなく6年次まで含めてよく考えて決めましょう。

### ■ 必修科目

現代文B（3時間） 数学Ⅱ（4時間） 体育（3時間） 保健（1時間） 家庭基礎（2時間）  
コミュニケーション英語Ⅱ（5時間） 総合的な探究（1時間） 行学（1時間）

### ■ 古典選択（1科目選択）：週2時間

#### <古典A>

古文の物語・随筆・説話などの読解を中心とする。また、中国に伝わる故事・寓話や漢詩を読みながら漢文の基礎を学ぶ。古典文学を読み味わう基本的な力を養う。

#### <古典B>（C選択で古典Bをとらなければならない）

古文の物語・随筆・日記・説話などの読解鑑賞を中心とする。また、漢文の基礎である文法の学習に力を入れ読解へつなげる。古典文学を味わいながら読める力を養う。日本語日本文学科希望者は選択することを推奨。一般受験で古典を使用する者は履修することが望ましい。

### ■ 地歴選択（1科目選択）：週2時間

#### <日本史A>

現代の日本がどのような歴史的変遷をたどって形成されてきたのかを、近現代史を中心に学ぶ。『中学歴史』や『世界史A』の知識を生かして、世界との関わりの中で、日本がどのようなあり方をしてきたかを理解し、歴史的思考力を養う。現代教養学科希望者は『日本史A』か『日本史B』のどちらかを必ず選択すること。日本語日本文学科希望者は『日本史A』か『日本史B』を選択することが望ましい。

#### <日本現代史>

現代の日本がどのような歴史的変遷をたどって形成されてきたのかを、現代史を中心に深く学ぶ。中学歴史・高校世界史Aの知識を生かして、世界との関わりの中で、日本がどのようなあり方をしてきたかを理解し、歴史的思考力を養う。これを履修した者は、必ずA選択で『日本史B』をとること。

#### <地理A>

世界の諸地域の生活・文化、現代世界の課題を、資料収集の分析、およびその結果の地図化などを通して地理的に考察し、地理的な見方や考え方、地理的認識を学ぶ。『世界史A』や『現代社会』で学んでいる知識を生かして、世界の現状とこれからを生きる上での公正な判断力を培い、国際社会で主体的に生きるという自覚と資質を養う。国際学科希望者は選択することを推奨。



## ■ 数学Ⅱ選択 (1 科目選択) : 週 4 時間

<数学Ⅱ> 対象：数学Ⅱを受験科目としない人。

4 年次に学習している数学Ⅱの分野に引き続き、図形と方程式・三角関数・指数関数と対数関数・微分法と積分法を教科書に沿って学ぶ。

<文系数学Ⅱ> 対象：主に文系学部進学を希望し、数学Ⅱを受験科目とする人。数Ⅲは必要ない人。

4 年次に学習している数学Ⅱの分野に引き続き、数学Ⅱの内容 (『数学Ⅱ』参照) について、教科書より発展した内容や入試問題を扱う。C 選択の数学 B を履修することが望ましい。

<理系数学Ⅱ> 対象：主に理系学部進学を希望し、数学Ⅱを受験科目とする人。

高校 3 年次に数学Ⅲを履修する予定の人。

4 年次に学習している数学Ⅱの分野に引き続き、数学Ⅱの内容 (『数学Ⅱ』参照) を学習後、後期には数学Ⅲの内容も扱う。文系数学Ⅱより進度が早く、各内容において教科書より発展した内容や入試問題を扱うため、基礎力がきちんと身に付いている者 (4 年次の数学の成績が 8 以上の者が望ましい) が選択することを望む。C 選択の数学 B を履修すること。

## ■ 理科選択 (1 科目選択) : 週 2 時間

<物理基礎>

「物体の運動とエネルギー」「さまざまな物理現象とエネルギー」について学び、物理の基本的な知識と探究の方法を身につける。6 年次に『物理』を選択する予定の者は選択すること。

<地学基礎>

「宇宙と地球」「地球のしくみと活動」「地球環境と歴史」「気象と海洋」について学び、地学の基本的な知識と探究の方法を身につける。6 年次に『地学』を選択する予定の者は選択すること。

## ■ A 選択 (1 科目選択) : 週 4 時間

<世界史 B>

世界の歴史の大きな枠組みと展開を、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら学ぶ。『中学歴史』と『世界史 A』の知識をふまえ、世界各地域の文化と伝統についての知識を深め、グローバル社会に対応した幅広い理解と歴史的思考力を養う。世界史で受験を考えている者は、『世界史 B』を履修することが望ましい。国際学科希望者は推奨。

<日本史 B>

日本の歴史の大きな枠組みと流れを、古代から現代まで総合的に学ぶ。『中学歴史』や『世界史 A』の知識をふまえ、日本の文化と伝統についての認識を深め、世界史的視野に立った理解ができるように留意し、歴史的思考力を養う。現代教養学科希望者は『日本史 A』か『日本史 B』を必ず選択すること。日本語日本文学科希望者は『日本史 A』か『日本史 B』を選択することが望ましい。日本史で受験することを考えている者は、『日本史 B』を選択することが望ましい。

<生物>

生物基礎で学習した内容からさらに発展した内容を学習する。「生命現象と物質」「生殖と発生」「生物の環境応答」「生態と環境」「生物の進化と系統」に関する学習をする。生化学的な内容が多いので化学基礎の知識をしっかりと身につけておくこと。昭和女子大学食健康科学部の管理栄養学科を志望する者はこの科目か 6 年次 F 選択の『生物』を必ず選択する。健康デザイン学科・食安全マネジメント学科を志望する者は、この科目か F 選択『生物』、A 選択『化学』か D 選択『化学』のどれか 1 科目を必ず選択すること。他大生物学・医・歯・薬・看護・農学系を志望している者は選択していることが望ましい。6 年次に J 選択『精選生物』と併せて履修することが望ましい。



## <化学>

化学基礎の「酸化還元的应用（電池・電気分解）」を発展させた内容である「電気分解の法則」や「無機化合物」「有機物質」「物質の状態」について学ぶ。昭和女子大学食健康科学部の管理栄養学科は必ず、健康デザイン学科・食安全管理学科希望者はこの科目か6年次に『生物』を必ず選択すること。他大医・歯・薬・化学系を志望している者は、6年次E選択『精選化学』と併せて選択することが望ましい。5年次A選択『化学』を選択できなかった場合、6年D選択で選択することも可能である。（ただし、6年D選択で選択する場合は6年E選択の『精選化学』と並行履修することが望ましい）

## <英語表現Ⅱ>

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に着けるとともに多様な表現方法を学び、事実や意見などを論理的に述べる力を養う。各種の4技能外部試験および大学入試で求められる英語力の習得を目指す中級レベル以上のクラス。外国人教師が週2時間、日本人教師が週2時間行う。英語コミュニケーション学科・現代教養学科希望者は履修を推奨する。特に現代教養学科5修生希望者はどちらかを必ず選択すること。

## ■ B 選択（1科目選択）：週2時間

### <政治・経済>

4年次に習った『現代社会』の内容をより深めていく。特に、現代の日本や世界で起こっている政治や経済の問題を取り上げてその理解を深め、それらに関する諸課題について考えていく。『政治・経済』、『現代社会』、『倫理・政治経済』で受験を考えている者は、『政治・経済』を履修することが望ましい。国際学科希望者は選択することを推奨。

### <数ⅠA 演習>

4年次までに履修した数学ⅠAの内容を、受験レベルに引き上げることを目的とする。数学ⅠAを受験科目と考えている人が選択すること。

### <数Ⅱ 演習>

4年次までに履修した数学Ⅱの内容を、受験レベルに引き上げることを目的とする。数学Ⅱを受験科目と考えている人が選択すること。

### <美術Ⅱ>

前期、後期で3～4課題を制作し、今まで学んだ表現を深め、表現の工夫を図り主体的に制作する態度を身につける。

4年次に『美術Ⅰ』を選択した者しか選択できない。環境デザイン学科希望者は選択することが望ましい。

※ 教材費として約1500円必要となる。

### <音楽Ⅱ>

高校1年で培った音楽的な能力を高める。ソルフェージュ・楽典を基に基礎基本の能力を高め、さらに、コンピュータ等を使用し、音楽表現の幅を広げる。4年次に『音楽Ⅰ』を履修した者しか選択できない。

### <書道Ⅱ>

「書」が筆者の意図や感動を表現する芸術であることを理解し、書く人の心情や人間性が文字の上になじみ出ていることを学ぶ。書に親しみ、自分の個性を生かした創造的表現の実践を行う。4年次に『書道Ⅰ』を履修した者しか選択できない。日本語日本文学科で教員志望者は『書道Ⅱ』を選択することが望ましい。

### <英語会話>

外国人教師による授業を週2時間行う。授業では、ディスカッションやプレゼンテーションで自分の意見を自由に述べ、他の人の意見を聞き合うなど、積極的なコミュニケーションを図る能力を養う。英語コミュニケーション学科・現代教養学科希望者は履修を推奨する。特に現代教養学科五修生希望者はどちらかを必ず履修すること。



## ■ C 選択 (1 科目選択) : 週 2 時間

### <古典 B> (古典選択で古典 B を選択した者に限る)

古文の物語・随筆・日記・説話などの読解鑑賞を中心とする。また、漢文の基礎である文法の学習に力を入れ読解へつなげる。古典文学を味わいながら読める力を養う。日本語日本文学科希望者は選択することを推奨。一般受験で古典を使用する者は履修することが望ましい。

### <倫理>

日本や西洋・東洋の先哲の思想を学習しながら、現代社会に生きる課題や、国際社会における日本人のあり方などを考える。倫理を受験科目に考えている者は、『政治・経済』もしくは『政治経済演習』も合わせて選択すると大学入学共通テストの『倫理・政治経済』にも対応できる。

### <数学 B>

ベクトル、数列について、基本的な概念を理解し、応用力を養う。他大学理数系希望者 (大学によっては必履修科目になっているので良く調べること)、昭和女子大学の心理学科・環境デザイン学科 (建築)・管理栄養学科・健康デザイン学科・食安全マネジメント学科希望者は履修することが望ましい。



■ 2022年度 5年生本科コース 必修・選択科目の教科別一覧

教科	必修	古典選択 (2時間)	地歴選択 (2時間)	数学Ⅱ選択 (4時間)	理科選択 (2時間)	A選択 (4時間)	B選択 (2時間)	C選択 (2時間)
国語	現代文B (3時間)	古典A 古典B						古典B
地歴 公民			日本史A 日本現代史 地理A			世界史B 日本史B	政治・経済	倫理
数学	数学Ⅱ (4時間)			数学Ⅱ 文系数学Ⅱ 理系数学Ⅱ			数ⅠA演習 数Ⅱ演習	数学B
理科					物理基礎 地学基礎	生物 化学		
保健 体育	保健 (1時間) 体育 (3時間)							
芸術							美術Ⅱ 音楽Ⅱ 書道Ⅱ	
家庭	家庭基礎 (2時間)							
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ (5時間)					英語表現Ⅱ	英語会話	

※ 文系で日本史または世界史で受験する場合は、5年次の日本史Bまたは世界史Bを履修すること。

■ 他大学を希望する場合の5年次選択科目のパターン

		古典選択	地歴選択	数学Ⅱ選択	理科選択	A選択	B選択	C選択
		古典A 古典B	日本史A 日本現代史 地理A	数学Ⅱ 文系数学Ⅱ 理系数学Ⅱ	物理基礎 地学基礎	世界史B 日本史B 生物・化学 英語表現Ⅱ	政治・経済 数ⅠA演習 数Ⅱ演習・美術Ⅱ 音楽Ⅱ・書道Ⅱ 英語会話	古典B 倫理 数学B
他大学	文系(英・国・社)	古典B	日本現代史 地理A	数学Ⅱ	物理基礎 地学基礎	世界史B 日本史B 英語表現Ⅱ	政治・経済 英語会話	古典B 倫理
	文系(英・国・数)	古典B	日本史A 日本現代史 地理A	文系数学Ⅱ	物理基礎 地学基礎	世界史B 日本史B 英語表現Ⅱ	数ⅠA演習 数Ⅱ演習 英語会話	古典B 数学B
	理系(数ⅠAⅡB)	古典A 古典B	日本史A 地理A	文系数学Ⅱ	物理基礎 地学基礎	生物 化学	数ⅠA演習 数Ⅱ演習	数学B
	理系(数ⅠAⅡBⅢ)	古典A 古典B	日本史A 地理A	理系数学Ⅱ	物理基礎 地学基礎	生物 化学	数ⅠA演習 数Ⅱ演習	数学B
	芸術系・体育系	古典A 古典B	日本史A 地理A	数学Ⅱ	物理基礎 地学基礎	世界史B 日本史B 英語表現Ⅱ	政治・経済 英語会話 美術Ⅱ 音楽Ⅱ 書道Ⅱ	古典B 倫理



## ■ 昭和女子大学（5修・6修）を希望する場合の5年次選択科目のパターン

学部	学科	古典選択	地歴選択	数学Ⅱ選択	理科選択	A 選択	B 選択	C 選択	昭和女子大学の履修条件・推奨
		古典A 古典B	日本史A 日本現代史 地理A	数学Ⅱ 文系数学Ⅱ 理系数学Ⅱ	物理基礎 地学基礎	世界史B 日本史B 生物・化学 英語表現Ⅱ	政治・経済 数ⅠA演習 数Ⅱ演習・美術Ⅱ 音楽Ⅱ・書道Ⅱ 英語会話	古典B 倫理 数学B	
人間文化学部	日本語日本文学科	古典B 《推奨》	日本史A 日本現代史			世界史B 日本史B	政治・経済 書道Ⅱ（教員志望者）	古典B 《推奨》	古典Bを履修することを推奨
	歴史文化学科	古典A 古典B	日本史A 日本現代史 地理A			日本史B	政治・経済	古典B 倫理	日本史AB・地理Aから1科目以上履修すること
人間社会学部	心理学科							数学B	
	福祉社会学科								
	現代教養学科		日本史A			日本史B 英語表現Ⅱ	政治・経済 英語会話	倫理	☆5修生希望の場合は、英語表現または英語会話と日本史Aまたは日本史Bが必修
	※初等教育学科								※5修での募集はない
環境デザイン学部	環境デザイン学科			文系数学Ⅱ 理系数学Ⅱ	物理基礎		美術Ⅱ	数学B	デザインを学びたいという強い意志があること
食健康科学部	※管理栄養学科			文系数学Ⅱ 理系数学Ⅱ		生物 6年でも選択可 化学 6年でも選択可	数ⅠA演習 数Ⅱ演習	数学B	※5修での募集はない 化学・生物が必修
	※健康デザイン学科			文系数学Ⅱ 理系数学Ⅱ		生物 6年でも選択可 化学 6年でも選択可	数ⅠA演習 数Ⅱ演習	数学B	※5修での募集はない 化学or生物が必修
	食安全マネジメント学科			文系数学Ⅱ 理系数学Ⅱ		生物 6年でも選択可 化学 6年でも選択可	数ⅠA演習 数Ⅱ演習	数学B	化学or生物が必修
グローバルビジネス学部	ビジネスデザイン学科					世界史B 日本史B 英語表現Ⅱ	政治・経済 英語会話	倫理	
	会計ファイナンス学科					世界史B 日本史B 英語表現Ⅱ	政治・経済	倫理	
国際学部	英語コミュニケーション学科					英語表現Ⅱ 《推奨》	英語会話 《推奨》		英語表現Ⅱおよび英語会話を履修することを推奨
	国際学科		地理A 《推奨》			世界史B 《推奨》	政治・経済 《推奨》	倫理	地理・世界史・政経を多く履修することを推奨

については必ず選択のこと。（履修条件） 《推奨》は大学から推奨されている科目。選択することが望ましい。

は中高部として該当学科の進学に際して、選択することが望ましいと考えている科目。



## ■ 2023年度 6年生 必修・選択科目の教科別一覧 (予定)

2023年度の6年生での必修科目と選択科目は以下の通りとなる予定です。ただし、希望者が5名に満たない場合は原則開講しません。「G、H、I選択においては、最低1科目は選択すること」となります。各自の進路にあった科目または得意な科目を選択することが原則です。総合型選抜や推薦での進学を希望している場合も、一般受験に対応できるだけの準備をしておく必要があります。

教科	必修 (0時間)	D (4時間)	E (4時間)	F (4時間)	G (4時間)	H (2時間)	I (2時間)	J (2時間)
国語	現代文B (3時間)		古典演習	古典B	現代文演習		小論文	現代文講読
地歴 公民		日本史 世界史		日本史B 世界史B	地理B	倫理	地理演習 政治経済演習	日本史演習 世界史演習 政治・経済 実践社会
数学		☆数学演習D	☆数学演習E	☆数学演習F	※数学Ⅲ	※数学Ⅲ	☆数学ⅠA演習Ⅰ	☆数学ⅠA演習Ⅱ
理科		化学 地学 精選生物 精選物理	精選化学	生物 物理				地学基礎
保健 体育	体育 (2時間)							
芸術		音楽 美術 書道				工芸		
家庭						フード デザイン		
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ (5時間)	英語総合演習	☆英語演習E	☆英語演習F	グローバル 進学	スペイン語 韓国語 中国語 英会話		
情報								情報実習

- ・各講座は原則5名以上で開講する
- ・下線が引いてある講座は人数制限あり
- ・G、H、I選においては、最低1科目は履修すること(月水木金の5、6限)
- ・☆印はどちらか一方のみ履修することができる
- ・太字(ゴシック体)は学習指導要領上の科目

### 選択科目を決定する際に考慮する事項

#### 1. 受験科目として必要な科目(必ず、一般受験にも対応できるように最低限の準備をしておく)

文系：英国社、理系：英数理は最低押さえるとよいが、各自で志望校の受験科目を調べる必要がある。

具体的に決まっていない場合も文系・理系程度は決め、一般的に多い受験パターンを想定して準備をする。

日本史または世界史受験の場合は各Bを選択すること。

#### 2. 推薦(総合型・指定校・公募)等で履修条件となっている科目

各自で調べる必要がある。特に理工系学科では数学Ⅲが履修条件となる場合が多い。

昭和女子大学の内部推薦を希望する場合は、第2志望以降の学科の履修条件・成績条件も満たすこと。

#### 3. 自分の進路について、将来必要となってくる科目

#### 4. 自分が好きな科目・得意な科目

あまり得意でない科目の方面に進む場合は、相当の努力を要する自覚が必要。消去法では決めない(特に数学)

それほど好きでない科目・苦手な科目の関係する方面に進路を希望する場合は、進路の再考も検討する。

#### 5. 科目名にⅡ・Ⅲがつく科目を希望するならば、それぞれ同名のⅠ・Ⅱの科目を事前に履修しておかなければならない

#### 6. 評定平均値に条件がある場合、履修する科目によってどのような変化が予想されるか見通しを立てる

#### 7. 各自の状況によっては、負担となりすぎないように組合せを考える



## 2022年度 5年生 Gコース 必修・選択科目について

5年生での選択科目は、進路に深くかかわってきます。この時期に自分の進路についてよく考え、5年生の選択科目について決めましょう。昭和女子大学の授業参加学生（5修生）を希望しているのか、6年生に残り他大学または海外大学を目指すのか、内部進学を目指すのかなどさまざまな進路が考えられます。自分の進路に合わせた選択科目を5年次だけでなく6年次まで含めてよく考えて決めましょう。

### ■ 必修科目

現代文B（3時間） 数学Ⅱ（4時間） 世界史B（4時間） 体育（3時間） 保健（1時間）

家庭基礎（2時間） コミュニケーション英語Ⅱ（4時間） 英語表現Ⅱ（1/3時間）

総合的な探究の時間（1時間） 行学（1時間）

### ■ 古典選択（1科目選択）：週2時間

#### <古典A>

古文の物語・随筆・説話などの読解を中心とする。また、中国に伝わる故事・寓話や漢詩を読みながら漢文の基礎を学ぶ。古典文学を読み味わう基本的な力を養う。

#### <古典B>（C選択で古典Bをとらなければならない）

古文の物語・随筆・日記・説話などの読解鑑賞を中心とする。また、漢文の基礎である文法の学習に力を入れ読解へつなげる。古典文学を味わいながら読める力を養う。日本語日本文学科希望者は選択することを推奨。一般受験で古典を使用する者は履修することが望ましい。

### ■ 地歴選択（1科目選択）：週2時間

#### <日本史A>

現代の日本がどのような歴史的変遷をたどって形成されてきたのかを、近現代史を中心に学ぶ。『中学歴史』や『世界史A』の知識を生かして、世界との関わりの中で、日本がどのようなあり方をしてきたかを理解し、歴史的思考力を養う。現代教養学科希望者は『日本史A』か『日本史B』のどちらかを必ず選択すること。日本語日本文学科希望者は『日本史A』か『日本史B』を選択することが望ましい。

#### <地理A>

世界の諸地域の生活・文化、現代世界の課題を、資料収集の分析、およびその結果の地図化などを通して地理的に考察し、地理的な見方や考え方、地理的認識を学ぶ。『世界史A』や『現代社会』で学んでいる知識を生かして、世界の現状とこれからを生きる上での公正な判断力を培い、国際社会で主体的に生きるという自覚と資質を養う。国際学科希望者は選択することを推奨。

### ■ 理科選択（1科目選択）：週2時間

#### <物理基礎>

「物体の運動とエネルギー」「さまざまな物理現象とエネルギー」について学び、物理の基本的な知識と探究の方法を身につける。6年次に『物理』を選択する予定の者は選択すること。

#### <地学基礎>

「宇宙と地球」「地球のしくみと活動」「地球環境と歴史」「気象と海洋」について学び、地学の基本的な知識と探究の方法を身につける。6年次に『地学』を選択する予定の者は選択すること。



## ■ A 選択はなし（世界史 B）：4 時間必修

## ■ B 選択（1 科目選択）：週 2 時間

### <政治・経済>

4 年次に習った『現代社会』の内容をより深めていく。特に、現代の日本や世界で起こっている政治や経済の問題を取り上げてその理解を深め、それらに関する諸課題について考えていく。『政治経済』、『現代社会』、『倫理・政治経済』で受験を考えている者は、『政治経済』を履修することが望ましい。国際学科希望者は選択することを推奨。

### <数ⅠA 演習>

4 年次までに履修した数学ⅠA の内容を、受験レベルに引き上げることを目的とする。数学ⅠA を受験科目と考えている人が選択すること。

### <数Ⅱ 演習>

4 年次までに履修した数学Ⅱの内容を、受験レベルに引き上げることを目的とする。数学Ⅱを受験科目と考えている人が選択すること。

### <美術Ⅱ>

前期、後期で3～4 課題を制作し、今まで学んだ表現を深め、表現の工夫を図り主体的に制作する態度を身につける。環境デザイン学科希望者は選択することが望ましい。

※ 教材費として約 1500 円必要となる。

### <音楽Ⅱ>

ソルフェージュ・楽典を基に基礎基本の能力を高め、音楽表現の幅を広げる。

※ 教材費として約 1000 円必要となる。4 年次に音楽Ⅰを履修した人しか選択できない。

### <書道Ⅱ>

「書」が筆者の意図や感動を表現する芸術であることを理解し、書く人の心情や人間性が文字の上になじみ出ていることを学ぶ。書に親しみ、自分の個性を生かした創造的表現の実践を行う。4 年次に『書道Ⅰ』を履修した者しか選択できない。日本語日本文学科で教員志望者は『書道Ⅱ』を選択することが望ましい。

### <英語表現Ⅱ>（B 選または C 選で 2 時間必修）

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、多様な表現方法を学び、事実や意見などを論理的に述べる力を養う。B 選択または C 選択のどちらかで必ず選択すること。



## ■ C 選択 (1 科目選択) : 週 2 時間

### <古典 B> (古典選択で古典 B を選択した者に限る)

古文の物語・随筆・日記・説話などの読解鑑賞を中心とする。また、漢文の基礎である文法の学習に力を入れ読解へつなげる。古典文学を味わいながら読める力を養う。日本語日本文学科希望者は選択することを推奨。一般受験で古典を使用する者は履修することが望ましい。

### <倫理>

日本や西洋・東洋の先哲の思想を学習しながら、現代社会に生きる課題や、国際社会における日本人のあり方などを考える。倫理を受験科目に考えている者は、『政治・経済』もしくは『政治経済演習』も合わせて選択すると大学入学共通テストの『倫理・政治経済』にも対応できる。

### <数学 B>

ベクトル、数列について、基本的な概念を理解し、応用力を養う。他大学理数系希望者 (大学によっては必履修科目になっているので良く調べること)、昭和女子大学の心理学科・環境デザイン学科 (建築)・管理栄養学科・健康デザイン学科・食安全マネジメント学科希望者は履修することが望ましい。

### <英語表現 II> (B 選択または C 選択で 2 時間必修)

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、多様な表現方法を学び、事実や意見などを論理的に述べる力を養う。B 選択または C 選択のどちらかで必ず選択すること。



■ 2022年度 5年生Gコース 必修・選択科目の教科別一覧

教科	必修	古典選択 (2時間)	地歴選択 (2時間)	理科選択 (2時間)	B選択 (2時間)	C選択 (2時間)
国語	現代文B (3時間)	古典A 古典B ←		必ず両方を選択すること		→ 古典B
地歴 公民	世界史B (4時間)		日本史A 地理A		政治・経済	倫理
数学	数学II (4時間)				数IA演習 数II演習	数学B
理科				物理基礎 地学基礎		
保健 体育	保健 (1時間) 体育 (3時間)					
芸術					美術II 音楽II 書道II	
家庭	家庭基礎 (2時間)					
外国語	コミュニケーション英語II (4時間) 英語表現II (1+2時間)				英語表現II	英語表現II どちらかで必ず選択すること

■ 他大学を希望する場合の5年次選択科目のパターン

		古典選択	地歴選択	理科選択	B選択	C選択
		古典A 古典B	日本史A 地理A	物理基礎 地学基礎	政治・経済 数IA演習 数II演習・美術II 音楽II・書道II 英語表現II	古典B 倫理 数学B 英語表現II
他大学	文系(英・国・社)	古典B	日本史A 地理A	物理基礎 地学基礎	英語表現II	古典B
	文系(英・国・数)	古典A	日本史A 地理A	物理基礎 地学基礎	数学IA演習 数II演習 英語表現II	数学B 英語表現II
		古典B	日本史A 地理A	物理基礎 地学基礎	英語表現II	古典B
	理系(数IAIIB)	古典A	日本史A 地理A	物理基礎 地学基礎	数IA演習 数II演習 英語表現II	数学B 英語表現II
		古典B	日本史A 地理A	物理基礎 地学基礎	英語表現II	古典B
芸術系・体育系	古典A	日本史A 地理A	物理基礎 地学基礎	音楽II 美術II 書道II 英語表現II	英語表現II	



## ■ 昭和女子大学（5修・6修）を希望する場合の5年次選択科目のパターン

学部	学科	古典選択	地歴選択	理科選択	B 選択	C 選択	昭和女子大学の 履修条件・推奨
		古典A 古典B	日本史A 地理A	物理基礎 地学基礎	政治・経済 数ⅠA演習 数Ⅱ演習・美術Ⅱ 音楽Ⅱ・書道Ⅱ 英語表現Ⅱ	古典B 倫理 数学B 英語表現Ⅱ	
人間文化 学部	日本語日本文学科	古典B 《推奨》	日本史A			古典B 《推奨》	古典Bを履修することを 推奨
	歴史文化学科	古典A 古典B	日本史A 地理A		政治・経済	古典B	日本史AB・地理Aから 1科目以上履修すること
人間社会 学部	心理学科					数学B	
	福祉社会学科						
	現代教養学科		日本史A		英語表現Ⅱ	英語表現Ⅱ	☆5修生希望の場合は、 英語表現または英語会話 と日本史Aまたは日本史 Bが必履修
	※初等教育学科						※5修での募集はない
環境デザイン 学部	環境デザイン学科			物理基礎 地学基礎	数ⅠA演習 数Ⅱ演習	数学B	デザインを学びたいとい う強い意志があること
食健康科学部	※管理栄養学科			物理基礎 地学基礎	数ⅠA演習 数Ⅱ演習	数学B	※5修での募集はない 化学・生物が必履修
	※健康デザイン学科			物理基礎 地学基礎	数ⅠA演習 数Ⅱ演習	数学B	※5修での募集はない 化学or生物が必履修
	食安全マネジメント学科			物理基礎 地学基礎	数ⅠA演習 数Ⅱ演習	数学B	化学or生物が必履修
グローバル ビジネス 学部	ビジネスデザイン学科				政治・経済 英語表現Ⅱ	倫理 英語表現Ⅱ	
	会計ファイナンス学科				政治・経済 英語表現Ⅱ	倫理	
国際学部	英語コミュニケーション学科				英語表現Ⅱ	英語表現Ⅱ	英語表現Ⅱを履修するこ とを推奨
	国際学科		地理A 《推奨》		政治・経済 英語表現Ⅱ	英語表現Ⅱ	地理・世界史・政経を多 く履修することを推奨

については必ず選択のこと。(履修条件) 《推奨》は大学から推奨されている科目。選択することが望ましい。  

 は中高部として該当学科の進学に際して、選択することが望ましいと考えている科目。



## ■ 2023年度 6年生 必修・選択科目の教科別一覧 (予定)

2023年度の6年生での必修科目と選択科目は以下の通りとなる予定です。ただし、希望者が5名に満たない場合は原則開講しません。「G、H、I選択においては、最低1科目は選択すること」となります。各自の進路にあった科目または得意な科目を選択することが原則です。総合型選抜や推薦での進学を希望している場合も、一般受験に対応できるだけの準備をしておく必要があります。

教科	必修 (0時間)	D (4時間)	E (4時間)	F (4時間)	G (4時間)	H (2時間)	I (2時間)	J (2時間)
国語	現代文B (4時間)		古典演習	古典B	現代文演習		小論文	現代文講読
地歴 公民		<u>日本史B</u> <u>世界史B</u>		日本史 世界史	地理B	倫理	<u>地理演習</u> <u>政治経済演習</u>	<u>日本史演習</u> <u>世界史演習</u> <u>政治・経済</u> <u>実践社会</u>
数学		☆数学演習D	☆数学演習E	☆数学演習F	※数学III	※数学III	☆数学IA演習I	☆数学IA演習J
理科		化学 地学	精選化学	生物 物理				精選生物 精選物理 地学基礎
保健 体育	体育 (2時間)							
芸術		音楽 美術 書道				工芸		
家庭				<u>フード</u> <u>デザイン</u>	<u>ファッション</u> <u>造形基礎</u>	<u>子どもの発</u> <u>達と保育</u>		
外国語	<u>コミュニケーション英語III</u> (4時間)	英語総合演習	☆英語演習E	☆英語演習F	グローバル 進学	<u>スペイン語</u> <u>韓国語</u> <u>中国語</u> <u>G英語演習</u>		
情報								情報実習

- ・各講座は原則5名以上で開講する
- ・下線が引いてある講座は人数制限あり
- ・G、H、I選においては、最低1科目は履修すること(月水木金の5、6限)
- ・☆印はどちらか一方のみ履修することができる

### 選択科目を決定する際に考慮する事項

1. 受験科目として必要な科目 (必ず、一般受験にも対応できるように最低限の準備をしておく)  
文系：英国社、理系：英数理は最低押さえるとよいが、各自で志望校の受験科目を調べる必要がある。  
具体的に決まっていない場合も文系・理系程度は決め、一般的に多い受験パターンを想定して準備をする。  
日本史または世界史受験の場合は各Bを選択すること。
2. 推薦(総合型・指定校・公募)等で履修条件となっている科目  
各自で調べる必要がある。特に理工系学科では数学IIIが履修条件となる場合が多い。  
昭和女子大学の内部推薦を希望する場合は、第2志望以降の学科の履修条件・成績条件も満たすこと。
3. 自分の進路について、将来必要となってくる科目
4. 自分が好きな科目・得意な科目  
あまり得意でない科目の方面に進む場合は、相当の努力を要する自覚が必要。消去法では決めない(特に数学)  
それほど好きでない科目・苦手な科目の関係する方面に進路を希望する場合は、進路の再考も検討する。
5. 科目名にII・IIIがつく科目を希望するならば、それぞれ同名のI・IIの科目を事前に履修しておかなければならない
6. 評定平均値に条件がある場合、履修する科目によってどのような変化が予想されるか見通しを立てる
7. 各自の状況によっては、負担となりすぎないような組合せを考える



## 2022年度 5年生 SSコース 必修・選択科目について

5年生での選択科目は、進路に深くかかわってきます。この時期に自分の進路についてよく考え、5年生の選択科目について決めましょう。昭和女子大学の授業参加学生（5修生）を希望しているのか、6年生に残り他大学を目指すのか、内部進学を目指すのか、文系か理系かなどさまざまな進路が考えられます。自分の進路に合わせた選択科目を5年次だけでなく6年次まで含めてよく考えて決めましょう。

### ■ 必修科目

現代文B（2時間） 古典A（2時間） 数学Ⅱ（4時間） 数学B（3時間） 化学（4時間）

理科選択（4時間） 体育（3時間） 保健（1時間） 家庭基礎（2時間）

コミュニケーション英語Ⅱ（4時間） 英語表現Ⅰ（1時間） 総合的な探究（1時間） 行学（1時間）

### ■ 地歴選択：週2時間

#### <地理A>

世界の諸地域の生活・文化、現代世界の課題を、資料収集の分析、およびその結果の地図化などを通して地理的に考察し、地理的な見方や考え方、地理的認識を学ぶ。『世界史A』や『現代社会』で学んでいる知識を生かして、世界の現状とこれからを生きる上での公正な判断力を培い、国際社会で主体的に生きるという自覚と資質を養う。

### ■ 理科選択（1科目選択）：週4時間

#### <物理>

物理基礎から発展させた内容で、主に「力と運動・エネルギー」「波動」「電磁気」について学び、物理学の根本的な知識と探究の方法を身につける。数学的な知識・力も必要である。6年次J選択『精選物理』を選択することが望ましい。環境デザイン学科の建築または、理工学系を志望している者は選択することが望ましい。

#### <生物>

生物基礎で学習した内容からさらに発展した内容を学習する。「生命現象と物質」「生殖と発生」「生物の環境応答」「生態と環境」「生物の進化と系統」に関する学習をする。生化学的な内容が多いので化学基礎の知識をしっかりと身につけておくこと。6年次J選択『精選生物』と併せて履修することが望ましい。昭和女子大学生活科学部の管理栄養学科を志望する者はこの科目かF選択の『生物』を必ず選択する。他大生物学・医・歯・薬・看護・農学系を志望している者は選択していることが望ましい。

※ 生物は理科選択またはF選択どちらか一方のみ履修できる。



## ■ 昭和女子大学（5修・6修）を希望する場合の5年次選択科目のパターン

学部	学科	地歴選択	理科選択	昭和女子大学の 履修条件・推奨
		地理 A	物理 生物	
人間文化学部	日本語日本文学科			古典Bを履修することを推奨
	歴史文化学科	地理 A		日本史 AB・地理 A から1科目以上履修すること
人間社会学部	心理学科			
	福祉社会学科			
	現代教養学科			☆5 修生希望の場合は、英語表現と日本史 A または日本史 B が必修
	※初等教育学科			※5 修での募集はない
環境デザイン学部	環境デザイン学科		物理	デザインを学びたいという強い意志があること 美術を履修した方がよい
食健康科学部	※管理栄養学科		生物	※5 修での募集はない 化学・生物が必修
	※健康デザイン学科		生物	※5 修での募集はない 化学 or 生物が必修
	食安全マネジメント学科		生物	化学 or 生物が必修
グローバルビジネス学部	ビジネスデザイン学科			
	会計ファイナンス学科			
国際学部	英語コミュニケーション学科			
	国際学科	地理 A 《推奨》		地理・世界史・政経を多く履修することを推奨

については必ず選択のこと。(履修条件) 《推奨》は大学から推奨されている科目。選択することが望ましい。

は中高部として該当学科の進学に際して、選択することが望ましいと考えている科目。



## ■ 2023年度 6年生 必修・選択科目の教科別一覧 (予定)

2023年度の6年生での必修科目と選択科目は以下の通りとなる予定です。ただし、希望者が5名に満たない場合は原則開講しません。「G、H、I選択においては、最低1科目は選択すること」となります。各自の進路にあった科目または得意な科目を選択することが原則です。総合型選抜や推薦での進学を希望している場合も、一般受験に対応できるだけの準備をしておく必要があります。

教科	必修 (0時間)	D (4時間)	E (4時間)	F (4時間)	G (4時間)	H (2時間)	I (2時間)	J (2時間)
国語	現代文B (2時間)		古典演習	古典B	現代文演習		小論文	現代文講読
地歴 公民		<u>日本史B</u> <u>世界史B</u>		日本史 世界史	地理B	倫理	<u>地理演習</u> <u>政治経済演習</u>	<u>日本史演習</u> <u>世界史演習</u> <u>政治・経済</u> <u>実践社会</u>
数学		☆数学演習D	☆数学演習E	☆数学演習F	※SS 数学III	※SS 数学III	☆数学IA 演習I	☆数学IA 演習J
理科		化学 地学	SS 精選化学	生物 物理				精選生物 精選物理 地学基礎
保健 体育	体育 (2時間)							
芸術		音楽 美術 書道				工芸		
家庭				<u>フード</u> <u>デザイン</u>	<u>ファッション</u> <u>造形基礎</u>	<u>子どもの発</u> <u>達と保育</u>		
外国語	<u>コミュニケーション英語III</u> (5時間) 英語表現I (1時間)	英語総合演習	☆英語演習E	☆英語演習F	グローバル 進学	<u>スペイン語</u> <u>韓国語</u> <u>中国語</u> <u>英会話</u>		
情報								情報実習

- ・各講座は原則5名以上で開講する
- ・下線が引いてある講座は人数制限あり
- ・G、H、I選においては、最低1科目は履修すること(月水木金の5、6限)
- ・☆印はどちらか一方のみ履修することができる

### 選択科目を決定する際に考慮する事項

1. 受験科目として必要な科目 (必ず、一般受験にも対応できるように最低限の準備をしておく)  
文系：英国社、理系：英数理は最低押さえるとよいが、各自で志望校の受験科目を調べる必要がある。  
具体的に決まっていない場合も文系・理系程度は決め、一般的に多い受験パターンを想定して準備をする。  
日本史または世界史受験の場合は各Bを選択すること。
2. 推薦(総合型・指定校・公募)等で履修条件となっている科目  
各自で調べる必要がある。特に理工系学科では数学IIIが履修条件となる場合が多い。  
昭和女子大学の内部推薦を希望する場合は、第2志望以降の学科の履修条件・成績条件も満たすこと。
3. 自分の進路について、将来必要となってくる科目
4. 自分が好きな科目・得意な科目  
あまり得意でない科目の方面に進む場合は、相当の努力を要する自覚が必要。消去法では決めない(特に数学)  
それほど好きでない科目・苦手な科目の関係する方面に進路を希望する場合は、進路の再考も検討する。
5. 科目名にII・IIIがつく科目を希望するならば、それぞれ同名のI・IIの科目を事前に履修しておかなければならない
6. 評定平均値に条件がある場合、履修する科目によってどのような変化が予想されるか見通しを立てる
7. 各自の状況によっては、負担となりすぎないような組合せを考える



## ■ 5 修生制度について

中高6年間の学習過程を5年間で修了し、6年生（高校3年生）の1年間は本校に籍を置きながら、昭和女子大学で学ぶ制度です。大学が示す推薦基準を満たした場合、ひと足早く大学生活を体験することができ、就職活動や大学院進学にもゆとりをもって取り組めます。学科によっては、通常より1年早く大学を卒業することも可能です。

### ◎ 5 修生決定への道（フローチャート） ~~~~~

4月	5 修生進路相談会	
5月	前期中間考査	
6月		
7月	※1 前期末考査	
8月		
9月	昭和女子大学体験授業	
10月		
11月		
12月	後期中間考査	学内推薦希望申し出（20日前後）
1月	学内推薦出願（中旬）	
2月	※2 学内推薦合格発表	
3月		

※1 5年前期末までの評定平均、前期末成績が学内推薦の判定材料になります。

※2 合格の場合 → 志願者手続き（2月）

不合格の場合 → 6年生に進学



## — F. 2022 年度 6 年生 必修・選択科目について —

6 年生での必修科目と選択科目は以下の通りです。  
D～J 選択まで各自の進路や目的にあわせて科目を選択することになります。今年度からは

「G～I 選択では、最低 1 科目は履修すること」

とします。目的は、

- ① 主体的な学びの時間を増やす
- ② 進学に必要な科目に力を入れられるようにする
- ③ 評定平均が少しでもあがるように選択を考える

です。従って、履修しない日の午後は、下校または自習室で勉強ができます。授業に迷惑にならない形で、先生方と約束がとれれば、質問、面接・小論文等受験対策の指導を受けることもできます。自習時間に、スマホ・ケータイによるスタディアプリなどによる学習は、マナーを守って使用することを可能とします。ただし、大学合格内定を早期にもらった後は、空き時間に、大学進学準備の講座または課題にあてる時間とします。

月	火	水	木	金	土
午前中は必修 (D、E、F、J 選を含む)					
H	行学	G	I	G	/

### ■ 必修科目

科目	本科コース	グローバル留学コース	スーパーサイエンスコース
現代文 B	3 時間	4 時間	2 時間
体育	2 時間	2 時間	2 時間
コミュニケーション英語Ⅲ	5 時間	4 時間	5 時間
英語表現 I	/	/	1 時間



## ■ D 選択 (地歴・理科・芸術・英語の中から 1 科目選択) : 週 4 時間

### <日本史 B>

古代から現代までの日本の歴史について、既習事項の復習をしながら、基礎力の定着をはかる。

※ 人数制限 40 名。

### <世界史 B>

古代から現代までの世界の歴史について、大きな枠組みと展開を概観する。既習事項の復習をしながら、基礎力の定着をはかる。

※ 人数制限 40 名。

### <化学>

化学基礎の「酸化還元的应用 (電池・電気分解)」を発展させた内容である「電気分解の法則」「有機化合物」「物質の状態」について学ぶ。5 年次 A 選択『化学』を履修していない者のみ履修可能。『化学』未履修の者で、他大医・歯・薬・化学系を志望している者は、E 選択『精選化学』と併せて選択することが望ましい。

### <精選生物>

生物で学習する「生殖と発生」「生物の環境応答」「生態と環境」「生物の進化と系統」をさらに詳しく学習する。生物基礎の発展的な内容を扱うので、『生物基礎』の知識をしっかり身につけておくこと。

昭和女子大学食健康科学部の管理栄養学科・健康デザイン学科 (生物を履修した者)・食安全マネジメント学科 (生物を履修した者)、他大生物学・医・歯・薬・看護・農学系を志望している者は選択することが望ましい。

※ 人数制限 40 名。

### <精選物理>

『物理』の電磁気学・原子分野の講義および、『物理基礎』、『物理』の問題演習・解説を行う。教科書レベルの内容に不安のある者は、よく復習して理解してから授業に臨むこと。

### <地学>

「地球の構成と内部のエネルギー」「地球の内部、表面の活動」「地球環境と歴史」「宇宙の構造」について学習する。地学基礎をさらに発展させた内容について扱う。数学、物理の知識が必要となる。

### <音楽>

ソルフェージュ・楽典や簡易な伴奏付け、ピアノなど本校で実施可能な実技を学習する。音楽をさらに学習したい生徒はもちろん、将来上記内容が必要な学部に進みたい生徒への指導にも対応する (音楽系大学や初等教育等)。個別に楽譜代及び資料代が必要。4・5 年で『音楽』を履修していない生徒も受講可。

### <美術>

美術の知識・教養を高め鑑賞力を養い積極的に美術にかかわる姿勢を身に着ける。必修・選択で培った力を美術の学びのまとめとして、平面・立体・デザイン・鑑賞の領域の課題制作を通して実践し、また、プレゼンテーションを通して自分の考えやアイデアを他者に伝える能力と態度を養う。年 4 課題を制作する。

※ 教材費として約 2500 円必要となる。

### <書道>

毛筆・硬筆を練習し、毎回作品を仕上げ提出する。書体の学習、表現方法、古典鑑賞に至るまで幅広く扱う。必要な道具は各自で用意すること。



### <英語総合演習>

英検・TEAP・GTEC等の4技能試験を意識しつつ、「英語で考え、教養の幅を広げ、かつ志望校に挑む意欲と実力を育む」ことを主眼とした4技能型授業を行うクラス。

## ■ E 選択（国語・数学・理科・英語の中から1科目選択）：週4時間

### <古典演習>

古文の物語、随筆、日記、説話などの読解鑑賞を中心とする。また漢文の基礎の文法徹底と読解を行う。古典文学を味わいながら読める力を養う。比較的高いレベルの問題演習も行う。

### <数学演習 E>

前期は既習の『数学Ⅰ』『数学A』の内容の中で、入試問題演習を行う。予めテキストの問題を解いて授業に臨むことが前提となる。後期はプリントなどを使い、大学入学共通テストを中心に対策を行う。事象を数学的に考察する能力を養い、数学の良さを認識できるよう、またそれらを活用できるようにする。

### <精選化学>

A・D選択『化学』の内容では扱われない、「無機化合物」「高分子化合物」「反応速度と平衡（反応の速度、平衡移動と平衡定数）」などを扱う。数学の指数・対数計算の知識が必要となる。昭和女子大学食健康科学部の管理栄養学科・健康デザイン学科（化学を履修した者）・食安全マネジメント学科（化学を履修した者）志望者は履修することを原則とする。他大医・歯・薬・化学系を志望している者は選択することが望ましい。

### <英語演習 E>

大学入試に対応できる幅広い英語技能の習得を目指す、中級レベル以上のクラス。

## ■ F 選択（国語・地歴・数学・理科・英語の中から1科目選択）：週4時間

### <古典 B>

古文単語および古典文法の徹底をはかり、漢文の基礎を固める。多くの問題を解くことで実力を養う。5年次古典選択Bで使用している教科書「新精選古典B」を使用する。

### <日本史>

5年次の日本史Bの内容をひきつぎ、残された枠組みと流れを総合的に扱う。テーマ別の学習を取り入れながら、基礎力と応用力の定着をはかる。日本史で受験する可能性がある者は、日本史を履修すること。

※ 人数制限 40名。

### <世界史>

5年次の世界史Bの内容をひきつぎ、残された枠組みと流れを総合的に扱う。テーマ別の学習を取り入れながら、基礎力と応用力の定着をはかる。世界史で受験する可能性がある者は、世界史を履修すること。

※ 人数制限 40名。



### <数学演習 F>

「前期は既習の『数学Ⅰ』『数学A』『数学Ⅱ』『数学B』の内容の中で、入試問題演習を行う。予めテキストの問題を解いて授業に臨むことが前提となる。後期はプリントなどを使い、大学入学共通テストを中心に対策を行う。事象を数学的に考察する能力を養い、数学の良さを認識できるよう、またそれらを活用できるようにする。

### <生物>

『生物基礎』で学習した内容からさらに発展した内容を学習する。「生命現象と物質」「生殖と発生」「生物の環境応答」「生態と環境」「生物の進化と系統」に関する学習をする。生化学的な内容が多いので『化学基礎』の知識をしっかり身につけておくこと。5年次A選択『SS生物』を履修していない者のみ履修可能。他大生物学・医・歯・薬・看護・農学系を志望している者は選択していることが望ましい。

### <物理>

物理基礎から発展させた内容で、主に「力と運動・エネルギー」「波動」「電磁気」について学び、物理学の根本的な知識と探究の方法を身につける。数学的な知識・力も必要である。環境デザイン学科の建築または、理工学系を志望している者は選択することが望ましい。

### <英語演習 F>

大学入試に対応できる幅広い英語技能の習得を目指す、中級レベル以上のクラス。

## ■ G 選択（国語・数学の中から1科目選択）：週4時間

### <現代文演習>

評論・説明的文章や文学的文章の読解・鑑賞・批評を中心とする。多くの問題を解くことで実力を養う。大学入学共通テストの問題演習も行う。

### <地理 B>

自然環境や地域の生活、地球規模の課題などについて、地理的視野に立ってより深く学習する。一つのテーマを多角的に考察することを通して、応用力をつけ、大学入試に対応できる力を養う。

### <数学Ⅲ>

複素数平面、式と曲線では代数的な概念を幾何学的にとらえられるようにする。また、微分法・積分法の基礎として極限の概念を理解し、それを数列や関数値の極限の考察に活用できるようにする。いろいろな関数の微分法を学び、それをを用いて関数値の増減やグラフの凹凸などを理解し、微分法の有用性を認識するとともに、具体的な事象の考察に活用できるようにする。いろいろな関数の積分法を理解し、その有用性を認識するとともに、図形の求積などに活用できるようにする。数学Ⅲの標準単位数5単位満たすため、他大学医・理工系希望者向き。

### <ファッション造形基礎>

被服の専門的な知識を学び、色彩検定3級の合格も目指す。被服実習では和裁の基礎として縮小版の浴衣の製作と自由課題の衣服製作を行う。また、デザイン画、パターン展開、カラーコーディネートなどについて学習し、被服学の基礎を学ぶ。

- ※ 教科書の他に、色彩検定に関する参考書などの購入が必要。
- ※ 教材費の徴収あり。
- ※ 人数制限 24名。



## <グローバル進学>

外国人教師による授業を週4時間行う。TOEFL・IELTS等の外部検定試験を意識しつつ、英語の講義を聞き、それについて議論し、自分の意見を表現する力をつける。海外大学への進学、または国内英語系学部を希望する生徒対象のクラス。

## ■ H選択（公民・数学・芸術・家庭・外国語の中から1科目選択）：週2時間

### <倫理>

日本や西洋・東洋の先哲の思想を学習する。現代社会に生きる課題や、国際社会における日本人のあり方などを考えながら、大学入試に対応できる力を養う。『倫理』を受験科目に考えている者は、『政治・経済』もしくは『政治経済演習』も合わせて選択すると共通テストの『倫理・政治経済』に対応できる。

### <数学Ⅲ>

E選数学Ⅲの4単位と合わせて数学Ⅲの標準単位5単位をカバーする。また、数学Ⅲの演習を行い大学受験に必要な応用力を養う。他大学医・理工系希望者向き。

### <工芸>

生活の中に「在る」ものを自ら作り出す喜びを意識しながら、特に「使う」ということと、「美しさ」ということを大切に、木と金属を素材として前期後期に一課題ずつ制作する。※教材費として約2500円必要となる。

※ 人数制限20名。

### <フードデザイン>

食物の専門的な知識を学び、食生活アドバイザー2級の合格を目指す。また、ライフステージ別の栄養計画についての講義、調理実習や献立作成を通して、食事を総合的にデザインする力を身につける。実技試験を行い、実践的な技術を養う。

※ 教科書の他に、食生活アドバイザーに関するテキストなどの購入が必要。

※ 実習材料費の徴収あり。

※ 人数制限24名。

### <スペイン語>

スペイン語はスペインだけでなく、ラテンアメリカを中心とする多くの国々で話されている重要な国際語です。また、約4億人の話者人口を持つ、国連の公用語でもあります。この授業では、会話を題材としたテキストに沿って、スペイン語の初級文法の習得を目指します。スペイン語の学習を通して、スペイン語圏の国々の豊かな文化を知り、より広い世界への扉を開けましょう。

※ 人数制限24名。

### <韓国語>

韓国語は、語順や助詞の使い方、漢字語など、日本語と多くの類似点を有する言語です。この授業は、10個の基本母音、14個の基本子音からなるハングル文字の習得からスタートし、挨拶や簡単な日常会話、基礎文法の土台作りを目標としています。また、言葉だけではなくその背景となる文化も紹介しながら、授業の中で伝統遊びなどのさまざまな体験ができるよう工夫しています。韓国の言葉と文化にもっと興味を持ち好きになれるような、楽しい授業にしましょう。

※ 人数制限24名。



### <中国語>

「普通話」(標準語)の学習を通して、隣国の言語と文化を学びます。会話を題材としたテキストを使用して、文字・発音・初級文法等の言語知識を身につけます。

※ 人数制限 24 名。

### <英会話> ※本科コース、スーパーサイエンスコースのみ

外国人教師による授業を週 2 時間行う。授業では、ディスカッションやプレゼンテーションで自分の意見を自由に述べ、他の人の意見を聞き合うなど積極的なコミュニケーションを図る能力を養う。

### <英語演習 (G)> ※グローバル留学コースのみ

外国人教師による授業を週 2 時間行う。授業では、ディスカッションやプレゼンテーションを含め、4 技能をバランスよく伸ばす。英語力のさらなる向上を目指す上級レベルのクラス。

## ■ I 選択 (国語・地歴・公民・数学の中から 1 科目選択) : 週 2 時間

### <小論文>

自分の考えを深めながら、文章構成を工夫し、小論文を作成する。小論文を 3 週間に 1 回は書いて提出する。

※ 人数制限 20 名。

### <地理演習>

図表読解を中心とした大学入試問題演習を行い、対応力をつける。また、既習事項を発展させて、最新の統計資料を取り込みながら授業を展開する。

※ 人数制限 30 名。

### <政治経済演習>

大学入試問題演習を行い、応用力をつける。また、既習事項を発展させて、時事問題を取り込みながら授業を展開する。『政治・経済』を受験科目に考えている者は、『倫理』も合わせて選択すると大学入学共通テストの『倫理・政治経済』に対応できる。

※ 人数制限 30 名。

### <数学演習 I>

前期は既習の『数学 I』『数学 A』の内容の中で、「数と式」「2 次関数」「図形と計量」「データの分析」「場合の数と確率」「図形の性質」などについて取り上げ、入試問題演習を行う。予めテキストの問題を解いて授業に臨むことが前提となる。後期はプリントなどを使い、2 次試験対策を行う。事象を数学的に考察する能力を養い、数学の良さを認識できるよう、またそれらを活用できるようにする。他大学看護・経済・商学部系希望者向き。J 選択『数学 I A 演習 J』と同じ内容です。

## ■ J 選択 (国語・地歴・公民・数学・理科・情報の中から 1 科目選択) : 週 2 時間

### <現代文講読>

文学的文章・説明的文章の読解・鑑賞・批評を中心とする。作家についての理解を深めるとともに、作品の背景を探りながら読み味わい、記述力を養う。作品ごとにその内容に関するプレゼンテーションを行う。

(事前に割り当てられた作品をグループで発表、発表時間 50 分) 必修現代文 B 教科書「新精選現代文 B」を使用する。 ※ 人数制限 30 名。



### <日本史演習>

史料読解や論述問題を含めた問題演習も行い、GMARCH以上の大学入試に対応できる力を養う。

※ 人数制限 30名。

### <世界史演習>

論述問題を含めた入試問題演習を行い、GMARCH以上の大学入試に対応できる力を養う。

※ 人数制限 40名。

### <政治・経済>

既習した『現代社会』の基礎の上に、現代の政治・経済・国際関係などについてより深く学習する。現代の社会の諸問題を広い視野に立って考察する。

※ 人数制限 40名。

### <実践社会>

時事問題の分析・考察を通して、現代の日本や世界の現状をより深く追求する。自分なりの意見を構築し、個人としていかに行動するべきかを判断できる力を養う。

※ 人数制限 40名。

### <入試演習>

前期は既習の『数学Ⅰ』『数学A』の内容の中で、「数と式」「2次関数」「図形と計量」「データの分析」「場合の数と確率」「図形の性質」などについて取り上げ、入試問題演習を行う。予めテキストの問題を解いて授業に臨むことが前提となる。後期はプリントなどを使い、2次試験対策を行う。事象を数学的に考察する能力を養い、数学の良さを認識できるよう、またそれらを活用できるようにする。他大学看護・経済・商学部系希望者向き。

### <地学基礎>

「宇宙と地球」「地球のしくみと活動」「地球環境と歴史」「気象と海洋」について学び、地学の基本的な知識と探究の方法を身につける。

### <情報実習>

4年次の情報の授業で学んだことをもとに実習を中心に行う。P検対策、Photoshop Elementsを用いた画像処理・ポスター制作、Premiere Elementsを用いた動画編集、Webページ作成、プログラミングなどを行う。前後期1度ずつP検の準2級・2級（不合格の人は3級から）を受験し、その得点を換算して定期考査の得点のかわりとして成績に算入する。定期考査は実施しない。P検の資格取得のほか、ポスター・ちらしや雑誌のデザイン、CM作成やWebデザイン等に興味がある人、メディア関係への進学・就職を考えている人はとるとよい。

※ 人数制限 30名。

※ P検受験料（準2級 2,550円、2級 4,180円）は別途徴収。



## ■ 2022年度 6年生 必修・選択科目の教科別一覧

教科	必修 (12時間)	D選択 (4時間)	E選択 (4時間)	F選択 (4時間)	G選択 (4時間)	H選択 (2時間)	I選択 (2時間)	J選択 (2時間)
国語	<b>現代文 B</b> (2～4時間)		古典演習	<b>古典 B</b>	現代文演習		<u>小論文</u>	<u>現代文講読</u>
地歴 公民		<u>日本史 B</u> <u>世界史 B</u>		<u>日本史</u> <u>世界史</u>	<b>地理 B</b>	<b>倫理</b>	<u>地理演習</u> <u>政治経済</u> <u>演習</u>	<u>日本史演習</u> <u>世界史演習</u> <u>政治・経済</u> <u>実践社会</u>
数学			数学演習 E	☆数学演習 F	数学Ⅲ <u>並行履修すること</u>	数学Ⅲ	☆数学演習 I	☆数学演習 J
理科		化学 精選生物 精選物理  <u>並行履修が望ましい</u>  地学	精選化学	<b>生物</b> <b>物理</b>				地学基礎
体育	<b>体育</b> (2時間)							
芸術		音楽 美術 書道				<u>工芸</u>		
家庭						<u>フード</u> <u>デザイン</u>		
外国 語	<u>コミュニケーション</u> <b>英語Ⅲ</b> (4～5時間)  <b>S 英語表現 I</b> (1時間)	英語総合演習	☆英語演習 E	☆英語演習 F	グローバル 進学	<u>スペイン語</u> <u>韓国語</u> 英会話 英語演習 G		
情報								<u>情報実習</u>

- ・各講座は原則5名以上で開講する
- ・下線が引いてある講座は人数制限あり  
→人数不足・超過の場合は、選抜や抽選の結果、第2志望にまわることがある
- ・G、H、I選においては、最低1科目は履修する
- ・☆印はどちらか一方のみ履修することができる
- ・太字以外は「学校設定科目」である
- ・年度途中で選択科目の変更はできない



## ■ 6年生 選択科目の組み合わせ例

類 型	D 選択	E 選択	F 選択	G 選択	H 選択	I 選択	J 選択
国公立文系	日本史 B 世界史 B 英語総合演習	古典演習 英語演習 E	古典 B 日本史 世界史 英語演習 F	現代文演習 地理 B	倫理 英会話	小論文 地理演習 政治経済演習	現代文講読 日本史演習 世界史演習 政治・経済
国公立理系	化学 地学 英語総合演習	数学演習 E 精選化学 英語演習 E	数学演習 F 生物 物理 英語演習 F	数学Ⅲ	数学Ⅲ	数学演習 I	数学演習 J 精選生物 精選物理
国公立医学系	化学 地学 英語総合演習	数学演習 E 精選化学 英語演習 E	数学演習 F 生物 物理 英語演習 F	数学Ⅲ	数学Ⅲ	数学演習 I	数学演習 J 精選生物 精選物理
私立文系	日本史 B 世界史 B 英語総合演習	古典演習 英語演習 E	古典 B 日本史 世界史 英語演習 F	現代文演習 地理 B	倫理 英会話	小論文 地理演習 政治経済演習	現代文講読 日本史演習 世界史演習 政治・経済
私立理系	化学 地学 英語総合演習	数学演習 E 精選化学 英語演習 E	数学演習 F 生物 物理 英語演習 F	数学Ⅲ	数学Ⅲ	数学演習 I	数学演習 J 精選生物 精選物理
私立医系	化学 地学 英語総合演習	数学演習 E 精選化学 英語演習 E	数学演習 F 生物 物理 英語演習 F	数学Ⅲ	数学Ⅲ	数学演習 I	数学演習 J 精選生物 精選物理
芸術系 体育系 その他	音楽 美術 書道 英語総合演習	古典演習 英語演習 E	古典 B フード デザイン 英語演習 F	現代文演習 地理 B グローバル 進学	倫理 スペイン語 韓国語 中国語 英会話	小論文 地理演習 政治経済演習	現代文講読 日本史演習 世界史演習 政治・経済 実践社会 情報実習



## ■ 昭和女子大学（併願・専願）の履修条件・推奨科目

学部	学科	履修条件 (必ず選択する)	推奨科目 (選択することが望ましい)
人間文化学部	日本語日本文学科	なし	E 選：『古典演習』 F 選：『古典 B』
	歴史文化学科	なし	日本史・地理の選択科目を1科目以上履修 D 選：『日本史 B』 F 選：『日本史』 G 選：『地理 B』 I 選：『地理演習』 J 選：『日本史演習』
人間社会学部	心理学科	なし	なし
	福祉社会学科	なし	なし
	現代教養学科	なし	英語・地歴・公民の科目をできるだけ多く履修 D～J 選すべてに該当科目がある
	初等教育学科	なし	なし
環境デザイン学部	環境デザイン学科	なし	なし
食健康科学部	管理栄養学科	次の科目を全て履修 D 選：『化学』 (5年次未履修の場合) F 選：『生物』	なし
	健康デザイン学科	次の科目を全て履修 D 選：『化学』 (5年次未履修の場合) F 選：『生物』	なし
	食安全マネジメント学科	次の科目を全て履修 D 選：『化学』 (5年次未履修の場合) F 選：『生物』	なし
グローバルビジネス学部	ビジネスデザイン学科 会計ファイナンス学科	なし	なし
国際学部	英語コミュニケーション学科	なし	英語の科目をできるだけ多く履修 D～J 選すべてに該当科目がある
	国際学科	なし	英語・世界史・政経の科目をできるだけ多く履修 D～J 選すべてに該当科目がある

- ・管理栄養学科・健康デザイン学科・食安全マネジメント学科を専願または併願で志望する場合は、履修条件を満たすこと。
- ・昭和女子大学の内部推薦を希望する場合は、第2志望以降の学科の履修条件・成績条件も満たすこと。成績等の条件は、昭和女子大学の「附属校内部推薦基準」を各自で確認すること。



## — G. 大学入試について —

### ■ 大学入試制度

#### 1. 大学入学共通テスト

共通テストとは、独立行政法人「大学入試センター」が実施する統一テストである。

共通テストをひとことでいうと、「高校で学んだ基礎的なことが理解できているかが問われるマークシート方式の試験」ということができる。共通テストの出題教科・科目は6教科・28科目から選択できるようになっている。外国語のうち英語を選択した場合、リーディングとリスニングの両方に解答しなければならない。

共通テスト利用入試は、私立大学を受験の場合、共通テストさえ受けていれば、自分が受けた共通テストの科目が、大学の指定科目と合う大学・学部にはいくつでも出願でき、試験場へ足を運ばずに、願書を送るだけで合否判定を受けられる。（受験料はその都度必要である）私立大学の指定受験科目は2～3教科2～3科目を課す大学が大半であるが、難関私大の場合は、4科目やそれ以上の指定科目を課しているところもある。

共通テストへの出願は、現役高校生はすべて学校からの一括出願になる。9月上旬に学内説明会を行い、参加者に願書を渡す。願書は9月下旬にクラス主任に提出し、10月上旬～中旬に学校から一括出願する。



■ 2022 年度大学出題入学共通テスト教科・科目の出題方法等

教科	グループ	出題科目	出題方法等	科目選択の方法等	試験時間 (配点)
国語		『国語』	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典（古文、漢文）を出題する。		80分 (200点)
地理 歴史		「世界史 A」 「世界史 B」 「日本史 A」 「日本史 B」 「地理 A」 「地理 B」	『倫理、政治・経済』は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の 10 科目のうちから最大 2 科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで 2 科目を選択することはできない。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	1 科目選択 60分 (100点)  2 科目選択 130分 (解答時間 120 分) (200点)
公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理、政治・経済』				
数 学	①	「数学 I」 『数学 I・数学 A』	『数学 I・数学 A』は、「数学 I」と「数学 A」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学 A」の 3 項目の内容のうち、2 項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 【場合の数と確率、整数の性質、図形の性質】	左記出題科目の 2 科目のうちから 1 科目を選択し、解答する。	70分 (100点)
	②	「数学 II」 『数学 II・数学 B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	『数学 II・数学 B』は、「数学 II」「数学 B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学 B」の 3 項目の内容のうち、2 項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 【数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測】  『簿記・会計』は、「簿記」及び「財務会計 I」を総合した出題範囲とし、「財務会計 I」については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、「財務会計の基礎」を出題範囲とする。  『情報関係基礎』は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の 8 教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の 4 科目のうちから 1 科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、『簿記・会計』及び『情報関係基礎』の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	60分 (100点)



理 科	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		左記出題科目の 8 科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。  A 理科①から 2 科目 B 理科②から 1 科目 C 理科①から 2 科目 及び 理科②から 1 科目 D 理科②から 2 科目  なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理科①】 2 科目選択 60 分 (100 点)
	②	「物 理」 「化 学」 「生 物」 「地 学」			【理科②】 1 科目選択 60 分 (100 点)  2 科目選択 130 分 (解答時間 120 分) (200 点)
外国語		『英 語』 『ド イ ツ語』 『フ ラ ンス語』 『中 国 語』 『韓 国 語』	『英語』は、「コミュニケーション英語I」に加えて「コミュニケーション英語II」及び「英語表現I」を出題範囲とし、「リーディング」と「リスニング」を出題する。  なお、「リスニング」の問題音声流れる回数は、1 回読みのもとと 2 回読みのもとで構成する。	左記出題科目の 5 科目のうちから 1 科目を選択し、解答する。  ただし、科目選択に当たり、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』及び『韓国語』の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	『英語』 【リーディング】 80 分 (100 点) 【リスニング】 60 分 (解答時間 30 分) (100 点) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】 80 分 (200 点)

## 備 考

- 「 」で記載されている科目は、高等学校学習指導要領上設定されている科目を表し、『 』はそれ以外の科目を表す。
- 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史 A」と「世界史 B」、「日本史 A」と「日本史 B」、「地理 A」と「地理 B」、「倫理」と『倫理、政治・経済』及び「政治・経済」と『倫理、政治・経済』の組合せをいう。
- 地理歴史及び公民並びに理科②の試験時間において 2 科目を選択する場合は、解答順に第 1 解答科目及び第 2 解答科目に区分し各 60 分間で解答を行うが、第 1 解答科目及び第 2 解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。
- 理科①については、1 科目のみの受験は認めない。
- 外国語において『英語』を選択する受験者は、原則として、リーディングとリスニングの双方を解答する。
- リスニングは、音声問題を用い 30 分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付した IC プレーヤーの作動確認音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。



## 2. 国公立大学受験

原則として共通テストに出願、受験をして、その後、個別の大学に出願して2次試験を受験する。この共通テストと2次試験の総合点によって合否が決まるケースがほとんどである。また、2次試験への出願期間や試験日程は統一されており、前期日程、後期日程と一部公立大学の中期日程とに区分され、最大3校まで受験できる。(但し、1校合格した後は受験できない。辞退をすれば受験可能である)

## 3. 私立大学受験

各大学が定めた出願期間に出願し受験する。日程が重ならなければ何校でも受験が可能である。ただし、共通テスト利用大学を受験する場合は、国公立大学受験と同じように共通テストを受けておかなければならないが、各私立大学にそれぞれ出願しておけば何校でも受験できる。

私立大学一般選抜の入試スタイルは実にさまざま。うまく組み合わせれば、志望校を複数回受験することも可能で、受験チャンスを増やすことができる。

私立大学の一般選抜は、3教科型が中心。ただし、最近では2教科以下の入試を行う大学も増えている。

文系学部は、3教科の場合、外国語と国語が必須で、地歴・公民・数学から1教科を選択する方式が中心。2教科の場合は、外国語が必須で他の1教科を選択するか、任意の2教科を選択するパターンが主流になっている。

理系学部は、数学・理科・外国語の3教科が基本。2教科の場合は、数学と外国語か、数学が必須で理科・外国語から1教科を選択するパターンが多くなっている。

配点は各教科均等配点のほか、特定の教科の配点を重視する傾斜配点をとるケースもある。

なお、受験教科数が少なくなると、合格者最低点の得点率が高まることや受験生が集中して高倍率になる場合が多い。

私立大学の一般選抜は、年々多様化が進んでいる。ひとつの大学・学部であっても複数の入試方式を受験でき、併願が可能となる「複線入試」を導入しているところがほとんど。A日程・B日程などと日程を分けて実施する入試や、受験教科が複数パターンある入試、学外の会場で実施される入試など、その内容もさまざまである。

そのほかにも、全学部が共通の日程、共通の問題で入試を実施する「全学部統一入試」を導入する大学も増えている。通常の学部ごとの入試とは別日程で行われるため、受験機会が増えるという利点がある。また、受験生が都合の良い試験日を選んで受験できる「試験日自由選択制入試」を実施する大学もある。志願大学の試験日の重複を避けることができ、併願のチャンスがうまれる。

このように、私立大学では多様な受験機会が作り出されているが、一方で、仕組みも複雑になっている。合格のチャンスを逃さないためにも、志望校の募集要項をしっかりと読んで、早めに受験プランとスケジュールを立てておこう。



## 4. 入試方法の種類

### ◎ 一般選抜

入試のオーソドックスな試験である。得意分野を活せる多様な入試があり、受験チャンスも拡大している私大入試は、多様化が進み受験しやすくなっている。

私立大学の一般入試で最も一般的なパターンは、文系ならば「国語・外国語必須・地歴・公民・数学から1科目選択」、理系ならば「数学・理科・外国語」の「3教科型入試」である。これ以外に同じ学部学科でさまざまな入試を実施する大学が増えてきている。

複線入試・・・入学試験が異なる方法で数回実施され、そのたびに合格者が決定する。

全学部日程入試・・・全学部・学科が同じ問題で同じ試験日に一斉に試験を行う。

特に難関大学で実施校が増え始めている。

共通テスト利用入試・・・共通テストのみで合否が判定され、出願するだけで、各大学の試験会場へ受験に行く必要がない。

### ◎ 学校推薦型選抜

指定校推薦・・・各大学が過去の合格実績に基づいて、特定の高校に推薦枠を設け、その高校から生徒を推薦してもらう。推薦された生徒は学内選考ののち、そのまま合格に結び付くケースが多く、合格した場合は必ず入学することが条件となる。

公募推薦・・・各大学が示す応募条件に合った生徒を出身学校長が推薦する。

自己推薦・・・学校長の推薦を必要とせず、自分の個性や能力・特技などを積極的にアピールする。

### ◎ 総合型選抜

各大学が開く進学相談会やオープンキャンパスで大学の理念や特色などを理解し、自分の意欲を大学側に伝えて、双方の理解のもとにエントリーシートを提出する。その後1～2回の予備面接やインタビューの後に出願を行う。また、志望理由書などの提出書類や事前に課す論文などをもとに、まず一次審査を行い、合格者に長い論文や面接・グループ討論・プレゼンテーションなどを課して合否を決定する場合もある。



## — H. 6 年生の大学決定への道（フローチャート）—

### 1. 昭和女子大学第 1 志望（評定平均の内部選考基準を満たしている場合）

4 月	
5 月	前期中間考査
6 月	オープンキャンパス
7 月	前期末考査
8 月	
9 月	
10 月	学内推薦希望申し出（上旬）
11 月	学内推薦出願（10 日前後）      ※学内推薦合格発表（下旬）
12 月	不合格の場合
1 月	一般 A 選抜 ↓ 不合格の場合
2 月	一般 B 選抜 ↓ 不合格の場合
3 月	3 月入試

※ 合格後は、入学ための準備教育を行う。  
入学手続きは、2 月下旬～3 月上旬に行う。



## 2. 昭和女子大学第1志望（評定平均の内部選考基準を満たしていない場合）

4月	
5月	前期中間考査
6月	オープンキャンパス・総合型選抜ガイダンス
7月	前期末考査
8月	
9月	
10月	※総合型選抜
11月	
12月	不合格の場合
1月	一般A選抜
2月	一般B選抜
3月	3月入試
	不合格の場合
	不合格の場合

※ 合格後は、入学のための準備教育を行う。



### 3. 他大学+昭和（併願）

4月	
5月	前期中間考査
6月	オープンキャンパス
7月	前期末考査
8月	併願可の自己推薦等出願
9月	※1 大学入学共通テスト出願
10月	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">             学内推薦希望申し出（上旬） ↓           </div> <div style="text-align: center;">             他大公募（学校長）推薦出願（10～11月） ↓           </div> </div>
11月	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">             学内推薦合格発表（下旬）           </div> <div style="text-align: center;">             他大推薦入試           </div> </div>
	<p>学内推薦 合格 + 他大推薦 合格 → 学内推薦を辞退し他大へ進学</p> <p>学内推薦不合格 + 他大推薦 合格 → 他大へ進学</p> <p>学内推薦 合格 + 他大推薦不合格 → ※2 一般選抜へ</p> <p>学内推薦不合格 + 他大推薦不合格 → 一般選抜へ</p>
1月	※1 大学入学共通テスト
2月	一般選抜
3月	一般選抜

※1 大学入学共通テストを受ける場合

※2 一般選抜合格 → 学内推薦を辞退して一般選抜で合格した大学へ進学



#### 4. 他大学専願（推薦＋一般選抜）

4月	
5月	前期中間考査
6月	オープンキャンパス
7月	前期末考査
8月	併願可の自己推薦等出願
9月	※大学入学共通テスト出願
10月	他大公募（学校長）推薦出願（10～11月）
11月	他大推薦入試
12月	不合格の場合
1月	※大学入学共通テスト
2月	一般選抜
3月	一般選抜

※ 大学入学共通テストを受ける場合



## 5. 他大学専願（一般選抜）

4月	
5月	前期中間考査
6月	オープンキャンパス
7月	前期末考査
8月	
9月	※大学入学共通テスト出願
10月	
11月	
12月	
1月	※大学入学共通テスト
2月	一般選抜
3月	一般選抜

※ 大学入学共通テストを受ける場合



# — I. 推薦・総合型選抜等の指導事項 —

## 1. 昭和女子大学の学内推薦について

- (1) 「昭和女子大学 学内推薦制度 推薦基準」の条件を満たしている生徒のみ、出願できる。
- (2) 学内推薦志願者のうち、他大学併願希望者は、他大学の総合型選抜、学校推薦型選抜（学校推薦の他、自己推薦入試等、一切の推薦入試を含む）、一般・共通テスト利用入試の併願が可能になる。ただし、学内推薦出願書の提出締切日までに他大学（昭和女子大学を含む）の総合型選抜、学校推薦型選抜（学校推薦の他、自己推薦入試等、一切の推薦入試を含む）で合格になり、その大学の入試規定が専願の場合、出願できない。
- (3) 希望学部・学科は第4希望まで記入できる。
- (4) 選考を経て、推薦を認められた生徒は、大学から定められた期日（2月下旬～3月上旬）までに、入学金を納入しなければならない。
- (5) 選考を経て、推薦を認められた生徒で、他大学に合格し、他大学進学を決定したものは、すみやかに入学辞退届を提出する。

## 2. 指定校推薦について

- (1) 指定校推薦の希望者は、前期末の成績が確定した後に、志願書を提出する。
- (2) 選考に関しては、成績、生活行動、出欠席等の条件をもとに、選定される。
- (3) 合格した場合、辞退することはできない。

## 3. 学校推薦について

- (1) 公募制推薦（専願の場合）を受けた上で、併願を認める公募制推薦を受け、両大学に合格した場合は、専願の大学に進学する。
- (2) 総合型選抜（併願の場合）を受けつつ、公募制推薦（専願の場合）の出願を希望した場合、入試選考を同時並行ですすめてもよいが、両大学に合格した場合は公募制推薦（専願の場合）の大学に進学する。

## 4. 総合型選抜に関する規定

専願の総合型選抜を受験する生徒は、合格した場合は必ずその大学に進学する。



## — J. 昭和女子大学 学内推薦制度 推薦基準 —

学内推薦制度の推薦基準（全学科共通）は、次の①・②になる。

### ■ 出願基準（全学科共通）

#### ◎ 6年生

- ① 高等学校での学習態度、人物に優れ、出席良好で学校長が推薦する生徒
- ② 高等学校1年から3年前期までの全体の評定平均値が、3.2以上の者

#### ◎ 5修生

- ① 高等学校での学習態度、人物に優れ、出席良好で学校長が推薦する生徒  
(5年前期末成績平均が 70点以上の者)
- ② 高等学校1年から2年前期までの全体の評定平均値が、3.4以上の者



## — K. 昭和女子大学 学部・学科説明（募集定員は 2022 年度）—

### ■ 人間文化学部

#### <日本語日本文学科（募集定員 120 名）>

上代から近世までの古典文学に加えて、近代文学を学ぶ「日本文学」。日本語の成り立ちや仕組み、変遷を学ぶ「日本語学」。日本語を母語としない人に教える方法を学ぶ「日本語教育」。この三つの中から一つの分野を中心として、幅広く学び、日本の文化を深く理解し、豊かな表現力と感性を磨きます。

#### <歴史文化学科（募集定員 100 名）>

日本と世界の歴史と文化を探求する学科です。「手で考え、足で見る」すなわち、実習・発掘・現地調査を通して学ぶことを重視しています。歴史学だけではなく、考古学や美術史、服飾史、民俗学、文化財など様々な分野を幅広く総合的に学ぶことで、また、文献だけでなく実習・体験・フィールドワークを通して多角的に学ぶことで、現代社会で求められる調査力、問題発見・解決力、応用力を培います。学芸員、教職、考古調査士など専門性を活かした資格・技能のほか、社会で直接役立つ情報、ツーリズムホスピタリティなどの知識・技能も修得できます。

### ■ 人間社会学部

#### <心理学科（募集定員 100 名）>

1・2 年次では、偏りなく心理学の基礎知識を習得するため、あえてコースを設けず、臨床、発達、社会、認知の 4 領域すべての基礎知識を学びます。3 年次以降は専門の領域を探究し、卒論研究を通じて総合的な問題解決力を伸ばして、人と関わるあらゆる仕事や活動で心理学の視点からアプローチできる人材を育てます。学内推薦や一般入試を経て昭和女子大学大学院心理学専攻へ進学し、臨床心理士をはじめ高度な専門的資格を取得する道も開かれています。

#### <福祉社会学科（募集定員 80 名）>

1 年次は、ゼミ形式・少人数の「基礎演習」を行い、2 年次以降、地域のリーダー的な保育士を育成する「子ども家庭支援コース」、社会的課題を理解・解決するソーシャルワーカーを養成する「ソーシャルワークコース」、福祉社会・福祉サービスを創造する人材を養成する「福祉キャリアコース」の 3 コースに分かれ専門領域を深く探究します。3 コースいずれを選択しても社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、福祉科教員免許状の資格取得が可能です。

#### <現代教養学科（募集定員 100 名）>

現代教養学科では、ものごとを複合的に捉える目と、社会に語りかける判断力を育てます。刻々と変化する現代社会では、幅広い知識と溢れる情報を精査できる、鍛えられた“目”が求められます。この学科では一つのテーマを固定的に見ずに、様々な視点からの確に捉え、臨機応変に対応するための豊富な知識と柔軟な判断力、積極的に社会参加できる“生きる力”を持った魅力ある人を育成します。

#### <初等教育学科（募集定員 100 名）>

人間性豊かで社会性や指導力のある、誰からも信頼される魅力的な教育者を育てます。全員が「小幼（小学校教諭一種と幼稚園教諭一種）」または「幼保（幼稚園教諭一種と保育士）」の資格取得をめざします。2 つの資格をめざすことで、幅広い年代の子どもたち、教育の場への対応を学ぶとともに、教育と福祉の機能を持つ認定こども園などでも求められる総合力を身につけます。



## ■ 食健康科学部

### <健康デザイン学科（募集定員 75 名）>

科学的に「食と健康」を追究。栄養士養成を目的としたカリキュラムを基本に据えているため、卒業と同時に栄養士の資格取得が、また栄養教諭、中学・高校の家庭科、理科、保健、保健体育の教諭免許、健康運動指導士の受験資格なども取得可能。人々の健康と美しさをサポートするために、自分の手足を動かし、目で確かめ、実践的な力を確実に養います。

### <管理栄養学科（募集定員 72 名）>

卒業と同時に、管理栄養士の国家試験受験が可能。4年次には、年間13科目もの国家試験受験対策講座を用意。一人ひとりに合わせた受験指導で、ストレート合格をめざします。医療現場で定着しつつある「チーム医療」において、英語で書かれたカルテを理解し、医師や薬剤師らと協力し、患者の栄養指導面を担当するケースもあるため、外国語科目として「科学英語」の特別カリキュラムを設けています。希望者にはアメリカでの栄養士体験研修を実施し、国際的に活躍できる人材を育成します。

### <食安全マネジメント学科（募集定員 80 名）>

食品の品質・特性やその加工法を知るための食品学、それらを取り込む人体のしくみや栄養学、衛生管理の手法といった、“食”のサイエンス、つまり理系の領域を学び、“食”に関わるための基礎力を身につけます。輸入や流通、加工において安全性の高い食材を選択し、消費者の手に届けるまでをマネジメントするための社会科学の領域を学びます。海外キャンパスである昭和ボストン校への留学と、企業とコラボして学ぶ「プロジェクト演習」を選択して履修できます。留学や企業とのコラボを通してフードビジネスを取り巻く環境を直に体験することで、グローバル社会に対応した食安全マネジメントの総合力を高めます。

## ■ 環境デザイン学部

### <環境デザイン学科（募集定員 210 名）>

総合的なデザイン力・プレゼンテーション力を身につけ、自由な発想に基づいて知識とスキルを応用展開させる能力を育てます。「デザインプロデュース」「建築・インテリアデザイン」「プロダクトデザイン」「服飾デザインマネジメント」の4コース制とし、カリキュラムを編成しています。1年次の科目「デザイン基礎」では、全員が全コースの課題に取り組み基礎を学び、選択したコースで幅広い業界で通用する力を養います。



## ■ グローバルビジネス学部

### <ビジネスデザイン学科（募集定員 110 名）>

経済・ビジネス領域を中心に、現実の問題に鋭くアプローチするための知識の習得をめざして、以下のカリキュラムを編成しています。

1. ビジネスのデザインに求められる5つの知の領域（「顧客づくり」、「組織づくり」、「経営資源づくり」、「視野づくり」、「経済学的思考」）が設定されており、基礎から応用に至る理論体系を学ぶことができます。
2. ビジネスに必要な英語力と国際感覚の習得を重視し、学生は在学中に1セメスターのボストン留学プログラムを経験します。一定基準を満たした者は、アメリカ（ボストン地域）の提携大学において2または3セメスターの正規留学が可能です。
3. 化粧品、ファッション、金融、流通、ICT、航空をはじめとして、エネルギー、自動車、素材産業などより企業現場を熟知した実務経験者（大手企業の取締役経験者等）を招いて講義を行います。現実のビジネスに応用する力をつけるために、具体的な業界の特性分析や事例研究を講義で行います。さらに学生は課題解決型プロジェクトに参加し、グループディスカッションやビジネスプランニングを行うことにより、問題を発見し自ら解決する能力を養います。
4. 人、組織、資源を良く活かすために、経営学や経済学の考え方、理論を、少人数制のゼミナールを通して学びます。
5. キャリア教育、インターンシップ、ビジネススキル科目を習得し、ビジネスで通用する実践的なスキルを高めます。

### <会計ファイナンス学科（募集定員 80 名）>

ビジネスの言語のひとつである「会計」に「ファイナンス」を加え、新しいビジネスを創造できる人材を育成します。1年次の夏には「サマースクール」を開催し、徹底した簿記および金融教育を行います。2年次以降は、将来の進路に応じて、アカウントینگかファイナンスのどちらかに重点を置いて学びを深めていきます。2年次までに取得した簿記などの資格を活かし、更に上級の資格である公認会計士や税理士を目指すことも可能であり、BATIC（国際会計検定）の取得を視野に入れることもできます。夏休み期間中に金融機関などの企業にインターンシップに行くこともでき、4年次にかけては、ゼミ活動などを通して、企業や地域との「プロジェクト」を現代ビジネス研究所などと協同で行うこともできます。

## ■ 国際学部

### <英語コミュニケーション学科（募集定員 179 名）>

昭和ボストンを中心に多彩な留学プログラムと習熟度別少人数クラスでの段階的学習で、英語力の向上を目指します。また、3年次には卒業後の進路に合わせて、主専攻科目（「英米文学・文化」「英語研究」「英語教育」「メディアコミュニケーション」「ビジネスコミュニケーション」）を選択します。その他にも児童英語教育プログラムや、専門領域を補う副専攻科目も用意しています。

### <国際学科（募集定員 120 名）>

複雑化する国際社会に対処するため、人文科学と社会科学にまたがる科目を多く開講、複眼的な視点を養います。英語ともう一つの外国語（フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、韓国語から選択）を少人数クラスで集中的に学び、2年次で全員が世界各国へ留学をします。



## — I. 合格体験記 ～卒業生からのメッセージ～ —

### ■ 進学先（大学・学部・学科）

昭和女子大学・人間社会学部・初等教育学科

(AO入試)

#### 質問1 大学・学部・学科に関して

##### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

昭和女子大学に進学したいと思い始めたのは、高校1年次くらいです。AO入試で受験しようと思ったのは、高校3年次の5月くらいです。

##### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

他大に2～3回、昭和女子大学に3～4回行きました。

##### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

取得したい資格が取れるのと、ポストン研修があるからです。

#### 質問2 学習について

##### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次：2時間

高校2年次：2～3時間

高校3年次：4～5時間

##### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

平日：授業の予習・復習・宿題などをしました。

休日：平日の勉強+保育系の本を読むなどしました。

##### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

私は通っていませんでしたが、学校の先生に小論文や自己PRの指導をお願いしていました。それだけでも十分だと思います。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

夏休み前までは少しずつAO入試の準備をしていて、夏休み中はAO入試の準備に加えて、ボランティア活動もしました。ずっと勉強という感じではなかったので、自分の時間もありました。9月からは、出願や2次試験に向けてずっと準備をする日々でした。受験が終わってからは、行事などに力を入れました。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

私の研究は、高校1年次、2年次に保育系のことを調べたので知識が深まりました。昭和祭研究は、高校1年次、2年次にチーフをしていました。直接進路とは関わっていませんが、指導力は身についたと思います。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

高校1年次：夏休み中に保育園で4日間。

高校2年次：夏休み中に保育園で3日間。馬事公苑で1日ごみ分別指導。

高校3年次：夏休み中に保育園で3日間。馬事公苑で1日ごみ分別指導。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

保育検定を全種目1級まで取得したかったです。また、英検やN検なども2級まで取得できるとよいと思います。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

ボランティア活動や保育検定の受験は、必ず小論文や面接で役立ちます。朋友班の副班長やクラブ活動のマネージャーをさせていただいて、指導力が身につきました。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

受験するのにあたり大変なことばかりだと思いますが、周りの友達と励ましあって乗り越えてほしいです。6年間で身についたことを活かして頑張ってください。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

京都大学・文学部

（一般入試）

### 質問1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

学部に関しては、小学生の頃から人文系の分野に興味があったので、割と早い段階で文学部と決めていました。大学に関しては、かなり遅い時期まで心が決まらず、京都大学と決めたのは高校3年次の9月中旬でした。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

高校1年次の夏休みに筑波大学のオープンキャンパスへ1回参加しました。

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

京都大学文学部は、1・2回生の間に一般教養を学び、3回生で専攻を選択するようカリキュラムが組まれているので、はじめの2年間、人文系の様々な学問に触れつつ何を専門とするか模索することができます。高校3年次の私は哲学や神学、ドイツ文学など関心のある分野が定まらなかったため、もう少しここで様々なことを学べたらいいなと思い第1志望にしました。

### 質問2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次の夏から1年間ドイツへ留学しており、その関係で高校2年次の秋くらいまではろくに勉強していませんでした。高校2年次の10月頃から本格的に塾に通い始め、それから高校3年次の夏までは土日平日ともに1日5時間前後勉強していたような気がします。高校3年次の夏休みは1日6～8時間、秋以降は10時間、12月以降は13時間ほどでした。

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

高校2年次の秋頃までは交換留学に参加していたので、少しレギュラーな生活をしていました。帰国後こちらの生活が落ち着いてからは、クラブ活動が週1回しかなかったため、平日は学校から直接塾に行き、勉強していました。休日は家庭がクリスチャンだったので、教会で色々とう事がありました。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

受験直前まで行き続けるかは別にして、なるべく早い段階で試しに一度行った方がよいと思います。昭和にいと、大学受験は早くても高校2年次の冬頃から本格的に始めるものと思いがちですが、他校には高校3年間や中高6年間で全て受験に捧げる人もいます。たかが大学へ入るためだけにそこまでする必要はないと思いますが、そのような人たちとも同じ土俵の上で戦わなくてはいけないのだという焦りはなるべく早い段階で感じておいた方が精神衛生上よい気がしました。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

勉強面では数学の先生方に本当にお世話になりました。私は数学がひどく苦手だったので基礎の部分から繰り返しご指導していただきました。また勉強の計画も一緒に考えていただき、受験日前日まで諦めないよう応援していただいたことを本当に感謝しています。生活面では、特に高校3年次の秋以降不安で夜眠れずに勉強することが多かったので、学校の友人たちのゆるふわな雰囲気にも心洗われていました。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

京大の二次試験や慶応の一般入試では少し長めの文章を書くことが要求されるので、「私の研究」や「昭和祭研究」、感話など普段からものを書き慣れていると少し有利かなと思いました。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

高校1年次にサービスマンシップでボランティア活動に参加しました。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

論理的思考力です。論理的思考力を身につける方法は色々あると思いますが、高校生のできる一番簡単な方法は数学を勉強することではないかと思います。私は文学部志望ということもあり、かなり数学がないがしろにしていたのですが、大学に入ってからそれを通して養われる論理的思考力が人文系の学問でも非常に大切なことに気づき、真面目にやっておけばよかったなど後悔しています。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

1年間のドイツへの交換留学です。本当に狭い価値観の中でだけ生きていた私に、全人評価の丸でも、成績表の数字でも表せないような自分自身の「善さ」があるのだと気づかせてくれましたし、その気づきは今も自分の支えになっています。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

グーグルマップって本当に便利です。自分の所在地がどこなのか、目的地までどれくらいかかるのか、どこの角で曲がればいいのか、いちいちグーグル先生が教えてくれます。でも、変な回り道へ案内されることもありますし、なにより一番大切な「自力で目的地へ行く力」を失わせてしまうようにも思います。グーグルマップは自分にとってではなく、プログラムされた「一般的な誰か」にとっての最善ルートを考えているんじゃないでしょうか。自分にとっての最善ルートを見つけるには、自身が本来持つ「自力で目的地へ行く力」に拠る他ないと思います。これからもグーグルマップを使い続けることと思いますが、自分が今どこにいるのか、案内されている道が本当に正しいのか、常に懐疑し続けることが大切な気がします。皆さんの中高生活が善いものになりますように、同じ場所で学んだ者として陰ながら祈っています。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

杏林大学・保健学部・看護学科・看護学専攻

（一般入試）

### 質問1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

高校1年次の春です。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

3校です。そのうち第1志望校だった杏林大学には高校1年次から毎年1回ずつ行きました。杏林大学以外の2校は1回ずつ行きました。

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

高校生になった頃に助産師になりたいと思うようになりました。助産師になるには、まず看護師の国家資格を取得した上で助産師の国家試験を受けなければなりません。そのために、一度看護大学を卒業してから大学院や短大に進学するケースが多いです。しかし、杏林大学の看護学専攻では、試験や面接に合格すれば4年間で看護師と助産師2つの国家試験の受験資格を得られるので志望しました。

### 質問2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次、2年次に自宅での勉強に力を入れていたのは、漢字検定やVST、定期試験の時期のみです。クラブ活動が忙しかったので、3時間くらいの短時間で集中するようにしていました。塾には通っていませんでした。高校3年次はクラブを引退して勉強の時間が増えたので、休日は最低でも1日6時間、冬頃は10時間くらい勉強をしていました。

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

平日はクラブ活動の朝練と午後練があり、学校に登校するのは7時過ぎ、下校するのは17時半でした。日曜日にもクラブ活動があることが多かったです。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

これには向きと不向きがあると思います。塾の宿題に追われて学校の勉強が疎かになってしまうパターンもあると思うので、自分には必要無いと思うなら無理に行かなくてもいいと思います。しかし、塾や予備校も受験に向けての1つの大きな手段でもあるので有効に使えるのであれば行くべきだと思います。私が塾に行かなかったのは、金銭的な理由が大きいです。同じような事情で塾や予備校に行くか迷っている人がいるかもしれませんが、相当な難関校でない限り、学校で勉強することを大事にしていれば問題ないと思います。教材も学校で使っているもので十分ですし、わからない問題があっても学校の先生に相談すればしっかりサポートしてくれます。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

残念ながら不合格でしたが、同じ杏林大学保健学部看護学科看護学専攻の公募制推薦入試を受けたので、当時は勉強はもちろんしていましたが、加えて読書をよくしていました。主に医療系の新書です。自分が関心をもっている分野であれば、少し背伸びしたような本でも読み進められるので、おすすめです。また、本の感想文を書いて、推薦入試の面接に向けて知識を深めていました。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

「私の研究」では、高校1年次、2年次で出産に関する社会問題について研究しました。これが助産師という職業に出会い、強く志すようになったきっかけです。「私の研究」で自分の興味にあるものや将来目指しているものに関わることを調べることは、自分のやりたいことが見つかり、さらに目標に対する意思が強くなるチャンスかもしれません。高校3年生になってからでも遅くないので、「私の研究」でなくとも、興味のあることはとにかく調べてみるとよいと思います。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

サービ斯拉ーニングでは医療系のテーマを扱っていたので、障害者施設でのボランティア活動や、ドナルド・マクドナルドハウスの見学を行いました。ボランティア活動ではありませんでしたが、女性が社会進出する上での心身の悩みを高校生が共有し対策を唱えるシンポジウムにも参加しました。様々な人と関わることができ、とても勉強になりました。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

自分の考えを上手くまとめ、伝える力です。特に面接試験がある人は大事ですが、様々な情報を得て、色々な体験をして将来やりたいことを考えても、それを上手くまとめて自分のものにできなければ意味がありません。私はこの力は感話でつけることができると思います。どんなテーマでも原稿用紙2枚ほどにまとめられる習慣がついている人は苦労しないと思います。感話を面倒だと感じる人も多いと思いますが、少しこれを意識して臨んでください。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

クラブ活動と読書です。私は高校2年次の3月末まで吹奏楽部を続けていました。高校生になってから勉強などを理由にクラブを辞めてしまう人もいたので、これが私にとって良かったのか悪かったのかは分かりませんが、何か1つでも勉強以外で頑張って継続してやってきたものがあるということは、自分にとってとても強みになったと思います。読書については別のところでも述べましたが、興味のある分野について知識を深めることは絶対無駄にはなりません。息抜きでも色々な本を読んでみてください。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

受験は団体戦とよく言われますが、私はあまりそう思いません。自分のために戦えるのは自分1人だけです。周りに流されず、しっかり自分をもって、自分の進路と向き合ってください。その上で友達のやり方や考え方を尊重して、支えあっていってください。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

慶應義塾大学・環境情報学部・環境情報学科

(AO入試)

### 質問1 大学・学部・学科に関して

① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

高校1年次の7月上旬頃です。

② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

2校でそれぞれ2回行きました。

③ 進路先の決定理由は何ですか？

高校3年次の夏に参加した大学主催の未来構想キャンプがきっかけです。

### 質問2 学習について

① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次：自宅→2時間半 塾→5時間

高校2年次：留学

高校3年次：自宅→3時間 塾→5時間半

② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

平日は、登校の2時間前には起きて勉強していました。また、下校時は、学校から直接通塾し、自習をしたり授業を受けたりしていました。休日は、ボランティア活動と塾の両立をするため、平日と同じ生活習慣を維持しました。

③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

自分が行きたいと思えば行けばよいと思います。私の性格上、一緒に切磋琢磨できる友人や同じ苦勞を分かちあえる仲間がいないと受験を乗り越えられそうになかったなので、通いました。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

AO入試の出願が7月初旬からで提出資料も多かったので、4月から1人で緊張していましたが、学校ではそんなことも忘れて、とにかく笑ってストレス発散をしてエネルギーを蓄えていました。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に生かされたことを教えてください。

中学1年次の私の研究を通し、フィールドワークの大切さに気付かされたので、自分が興味関心をもったトピックについて、即行動に移してリサーチしました。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

高校1年次には、世田谷ボランティアセンターでボランティア団体を立ち上げて、ハロウィンクリスマスのイベントやお祭りへの出店をしました。高校2年次の留学時は、幼児の体操クラブでコーチ補佐をしました。高校3年次には、朝日新聞の特別記者をして、進路に活かすことができました。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

自分の身体を大切にすることです。私は、一度決めたらやり遂げるまで気が済まないため、無理をしまい、入試本番前に体調を崩してしまいました。休養をとり、心も体もリラックスすることは欠かせません。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

ボランティア活動は、自分の知らなかった一面を発見でき本当にやりたいことを発見できます。また、昭和以外に広い視野で活動してみると新たな出会いもあり、自分のロールモデルに出会うこともあります。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

チャレンジ精神や向上心をもって夢に向かって頑張ってください。どんな夢でも、何度も悩み、普段は気にしないことを気にかけてしまう時がありますが、きっと仲間がいるので相談することをおすすめします。応援しています。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

慶應義塾大学・文学部

(AO 入試)

### 質問 1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

中学3年次に進路希望の紙を提出するときに考え始めました。学部までの決定は、高校2年次になってからです。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

第1志望校は、高校に入ってから毎年行きました。第2・第3志望は、1回ずつ行きました。

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

はっきりと将来の夢がきちんと決まっていな中で、大学1年次に専攻を選ばずに幅広い学習ができる点に魅力を感じたからです。

### 質問 2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次、2年次は基本的に学校の授業の予習・復習を帰宅後に3~4時間。それにあわせてVST、漢検の対策は1週間前から、定期試験の勉強は1か月前から取り組んでいました。高校2年次の1月から塾に通い、毎日1コマは授業を受け、その予習・復習を行うことになったため、帰宅後から就寝までなるべく長い時間学習をするようにしました。

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

平日は、①に書いたような学習を済ませた後、部員や係としての仕事を行ったり、自分の趣味にあてたりしていました。休日は、事前にわかっている提出物に早目に取り組むことで、宿題が試験前に残ってしまう状態を防ぐようにしました。その上で、息抜きや自分の趣味に没頭するようにしました。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

人それぞれであると思います。私は自分のペースで勉強を進めたり、クラブがある日とない日で勉強の開始時間を変えたり、試験前はその対策だけに専念したかったので、映像授業の塾に通っていません。しかし、同じ授業を受けている友達を良きライバルとして勉強に励みたい人は集団の対面授業、一人で丁寧に教えてもらい質問もこまめにしたい人は個別の授業がよいと思います。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

基本的には、クラブの部長や委員としての仕事と勉強の両立に追われていました。しかし、友達との交流を楽しみたかったので、休み時間にはなるべく周りの人とコミュニケーションをとるように心がけていました。その時間の中で悩みや不安を打ち明けることで、疲れや忙しさを忘れることができたし、みんなと同じテキストを開いて小テスト直前の勉強をするのはよい思い出となりました。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

私自身は、特に直接的に進路に影響したことはありません。しかし、これらの研究を通して、自分が知りたかったことについて、さらに詳しく知ることができたり、今まで興味のなかったことについても新たに発見する部分があったりするため、自分の視野を広げるきっかけになることは間違いないと思います。単に研究するだけでなく、考察することになるため、今後の学習にはつながると思います。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

高校2年次にグリーンバードという団体にゴミ拾いをしました。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

英語においては、単語力です。受験前にも覚えることになると思いますが、それ以前に一定の語彙力が身につけていれば、長文読解の演習に早目に取りかかれます。また、朝型の生活に慣れておくともよいと思います。私は、基本、朝が苦手な夜になるとやりたい勉強や見直したい部分を思い出して、どんどん勉強時間を伸ばしがちでした。そのため、その日に何をやるかを最初に決めて1日を過ごすようにすると朝から切り替えて効率的に終われると思います。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

もともと勉強をする習慣があれば、その延長線上に受験勉強を捉えることが可能になって気持ち的にも少しは楽になったと思います。また、①に何をやるか決めた方がよいと書きましたが、突然それは難しい人もいると思います。まずは手帳などに自分が1日どのように過ごしたか書いておくと、自分がどの科目にどのくらいの時間をかけたかが分かり、科目のバランス調整に役立ったり、反省したりでき、少しずつ自分のペースが掴めると思います。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

今から受験かと荷が重く感じる人もいます。けれど、学校に通って授業を受けて、宿題をして、という基本的な生活を送っていれば、誰でも少なからず勉強はしているはずで、それを自信にして各自が目標としている学校をモチベーションにして、勉強の時間を長くして、中身を細かくしていけば努力はできると思います。これから勉強が嫌になったり、結果が思うようにならなくて挫折したりすると思います。ですが、試験当日が終わるまで合否は決まりません。最後の最後まで諦めずに続けてください。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

国立音楽大学・音楽学部・音楽文化教育学科・音楽文化教育専攻・音楽教育専修

(AO入試)

### 質問1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

高校1年次から行きたい大学を真剣に考え始めました。音楽大学には小学生の頃から行くことを考えていました。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

音楽大学には4校くらい行きました。音楽大学以外は6校へ行きました。

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

音楽の教師になりたかったからです。また、中高教員免許と他大学との提携で小学校教員免許も取得できる大学であったからです。

### 質問2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

自宅：教科の勉強→1時間 楽典の勉強や実技の練習→2～3時間

塾：実技のレッスン→1～2時間

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

平日：学校の後は、楽典の勉強や実技の練習をしました。

休日：実技の練習を中心にしていました。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

行ったほうがよいと思います。自分の行きたい大学の資料や受験情報、先輩方の体験談等を伺うことができるからです。



### 質問3 高校3年生の生活について

① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

すきま時間をつかって楽典等の勉強をしていました。他の人と目指す方向性が少し違ったので、周りには気を遣っていました。

② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

自分の将来につながることを「私の研究」で調べることができました。文章をまとめる力や構成する力を研究発表やレポート等で力をつけることができたと思っています。AO入試で面接や自己アピールがあったので、その際に役立ちました。

③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

環境系のボランティア活動や福祉系のボランティア活動に熱心に取り組みました。また、高校1年次、2年次は視野を広げようと思い、様々なボランティア活動に積極的に参加しました。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

英語力です。音楽大学だから英語を使わないと思っていましたが、留学生との会話や授業で英語を使うことがあったので、勉強しておけばよかったと後悔しています。

② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

学校生活を誠実に過ごしたことです。提出物やレポート等を早めに終わらせる力が身につきました。昭和での生活を真面目に過ごすとう大学生活が少し楽になると思います。

③ 在校生にメッセージをお願いします。

毎日を精一杯楽しんで生活をしてください。やりたいことを見つけることは時間がかかることがあるかもしれませんが、少しでも興味をもったものがあったら足を踏み入れてみるのもよいと思います。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

昭和大学・薬学部・薬学科

（特別協定校推薦入試）

### 質問1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

薬学部を志望し始めたのは、高校2年次の最初の頃でした。高校1年次まではなんとなく国際学部に興味を持っていましたが、昭和女子大学の体験授業で違和感を覚え、もともと好きな化学を活かして人の役に立てる薬剤師を目指すようになりました。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

7校に行きました。

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

総合大学であることと、他大学と比べて実習の質がとても高いことです。大学1年次に寮生活をする中で、医療人としての姿勢を身につけられ、さらに他大学よりも長く実習できるというところに魅力を感じました。

### 質問2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次：自宅→3～4時間

高校2年次：自宅→3～4時間 塾→1時間

高校3年次：自宅→3～4時間 塾→1～2時間

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

受験に備えてどんな日でも勉強しない日をつくらないようにしました。休日は最低でも7時間は勉強をするように心がけました。高校2年次まではクラブ活動に全力で取り組み、よいメリハリがつけられました。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

人それぞれだと思います。私は高校2年次の冬まで予備校に行かずに通信教育の講座を受講していましたが、自分にあった勉強のコツや覚え方、学校情報といったことを先生から教わりたかったため、途中から予備校に変更しました。最終的には自分にあっていたのでよかったです。



### 質問3 高校3年生の生活について

① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

学校では友達と会えるので、リフレッシュの時間として過ごしていました。勉強は基本的に学校や予備校よりも家で重点的に復習していました。

② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

直接的ではないですが、「私の研究」のテーマが理系のものが多かったので、理系の学部に進学しようというきっかけになりました。文献だけでなく、フィールドワークの重要性を知り、よい経験になりました。

③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

ゴミ拾いや外来種駆除といった環境保全活動や手作りの絵本で児童館にいる子どもに読み聞かせを行いました。環境問題をよく考えることができる貴重な体験になりました。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

毎日英単語を覚える習慣をつけることです。英語なら進路に関係なく必要な力となるので、高校3年次からではなく、もっと早いうちから取り組むと自分のためになると思いました。

② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

クラブ活動です。身をもって「努力をすれば結果はついてくる」ことを知り、精神面の大きな支えとなりました。クラブ活動で学んだ礼儀や姿勢は勉強面や生活面で大いに活かし、自分に自信がもてるようになりました。

③ 在校生にメッセージをお願いします。

勉強している途中で嫌になってしまうこともありますが、苦しいのは一瞬です。後悔するのは一生なので、自分を信じて地道に努力を積み重ねれば、よい結果を出せるはずですよ。頑張ってください。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

成城大学・社会イノベーション学部・心理社会学科

(AO入試)

### 質問1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

高校2年次の夏ごろです。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

8校くらいです。第1志望校には高校3年次に4回行きました。

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

学びたい心理学に加えて、社会学も学べるということです。さらに、様々な大学を見た中で自分に合っていると思ったからです。

### 質問2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次、2年次は学校生活で精一杯だったので、AO受験のためと学校の成績を上げるための塾にそれぞれ週1回ずつ行っていました。高校3年次には、AO入試のための塾の回数が増えたので、授業のない午後の時間を有効活用して勉強をしていました。時間は特に決めず、できる限り進めました。

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

平日は最低限の予習・復習を行い、クラブ活動との両立をしていました。また、塾に通いはじめてからは、より忙しくなったので、1日をきちんと計画を立てて過ごすようにしました。休日は自分と相談をし、身体を休めたり勉強をしたりと様々でした。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

自分のやる気があれば行くべきだと思います。また、評定平均を上げたい、一般入試に挑戦するなどといった個人の目標によって考えていくと良いと思います。



### 質問3 高校3年生の生活について

① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

午後の授業のない時間を有効利用していました。早目に塾に行って勉強したり、受験対策をしたりと、自分の時間が多かったので一日一日計画を立てていました。

② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

AO 受験をするためには、自分の進路の学問をまずは知らなければいけないので、自ら調べそれをどうしたいのかを考えるときに、私の研究や昭和祭研究で培った探究する力やまとめる力が活かされたと思います。

③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

ボランティア活動は主に保育園と幼稚園でした。子どもたちの運動不足の解消や食事改善のために教育現場を実際に見て、どう改善していくべきかを探究しました。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

英語力です。

② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

様々な人とコミュニケーションをとることです。先生方や先輩、後輩など同学年以外の人ともコミュニケーションをとることで、学校外の活動や受験時の面接で役に立ちました。

③ 在校生にメッセージをお願いします。

志望校は、人から聞いたことよりも自分の目で見て感じたことを信じて決めた方が良いです。受験は正直、想像よりはるかに大変だと思いますが、先生方の協力や友達と励ましあって乗り越えることができたので、みなさんにも周りの人と協力をして頑張ってもらいたいです。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

津田塾大学・学芸学部・数学科

（一般入試）

### 質問1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

中学2年次の秋頃から数学を好きになりました。それから、数学の教員という仕事についてみたいと思うようになり、数学科を志望しました。高校1年次には、エアラインのパイロットになってみたいという夢も同時にもつようになりました。高校時代は、2つの夢を追いかけることになりました。高校3年生になり、志望校を決めるにあたり、もう一度自分と向き合いなおし、本当に大学で何がしたいのかを考えました。そこで、やはり大学の4年間は、数学を続けたいと思い、数学科合格に向けて勉強しました。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

6校行きました。それぞれ1回ずつ行きました。数学科4校、操縦学科2校に行きました。

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

少人数の教育がされていることが大きかったです。

### 質問2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次：英語→塾（1日1時間） 数学→自宅（1日2時間） 物理→自宅（1日1時間）

高校2年次：英語→塾（1日1時間） 数学→自宅（1日2時間） 物理→自宅（1日1時間）

高校3年次：英語→自宅（1日2時間） 数学→自宅（1日3時間） 物理→塾（1日2時間）

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

高校1年次、2年次は、SGHやクラブ活動、中央委員会、昭和祭企画委員長をしていたので、両立しながら勉強していました。休日は、あまり外に出ないで、数学を解いていることが多かったです。英語だけ映像型の塾に行っていました。高校3年次には、朝7時に学校の自習室に行き、昼休みも勉強していました。物理が得意ではなかったのに、物理だけ個別指導の塾に行きました。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

私の中では、苦手科目の物理を個別指導で習ったのは、よかったと思っています。数学に関しては、私は自分の中で考えて消化しなければ意味がないと思っているので、塾に行かなくても、問題集をやり、解説を読むことで力はつくと思います。数学で、塾に行かなくてよかったのは、昭和の先生方に質問させていただいていたからというのも大きい理由の1つです。とても感謝しています。正直、英語は、塾に行かなくなってから、自分で単語帳を覚えたり文法を理解したりしたほうが伸びました。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

7時から40分位は自習室で、昼休みは中教室で勉強していました。放課後は、塾がない日は自習室や家で勉強していました。時間をどれだけ抽出できるかを考えていました。また、風邪をひかないようにすることを徹底していました。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

ボストンに行ったり、SGHで航空会社に行かせていただいたり、私のパイロットという夢が芽生えて、目指そうと思った時期があったのは、そのおかげです。実際、パイロットになりたい人が集う塾に通ったり、実際にシミュレータを操縦してみたり、身体検査を受けたりできたので、よい人生経験になりました。進学したのは数学科ですが、航空会社のことやパイロットのことを知ることができて、今でも自分の趣味になっています。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

サービスマンニングで、ホームレスの方にお味噌汁の配布を行い、健康状態を確認しながらコミュニケーションを取り、社会復帰を促すという活動をしました。また、毎年世田谷公園清掃に参加していました。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

もっと読書をする習慣をつけておきたかったです。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

長い時間、一つのことを考えることが数学には必要だと思います。高校時代から、それができていたのでよかったと思います。また、大学では、レポートを書く機会がたくさんあります。中高部で、沢山レポートを書いていたおかげで、慣れていてよかったなと感じています。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

自分のやりたいことに対しての信念を貫いて、努力し続けることは、自分の自信につながると確信しています。途中で、悩んだり、迷ったりすることもあるのが受験だと思いますが、私は最後まで数学をやりたいと思い続けることが、合格の力になったと思います。自分がやりたいことを描きながら、勉強していけたらいいと思います。頑張ってください。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

東京女子医科大学・医学部

（公募推薦入試）

### 質問 1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

幼い頃から医師になりたいという思いがありましたが、高校生になってからはっきり決めました。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

医学部 4 校、その他 3 校です。

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

唯一の女子医大であることと、試験科目が私にあっていると思ったからです。

### 質問 2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校 1・2・3 年次）

高校 1 年次：自宅→1 時間 塾→3 時間

高校 2 年次：自宅→1 時間 塾→3 時間

高校 3 年次：自宅→0 時間 塾→5 時間（平日） 11～12 時間（休日）

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

平日は学校と塾の宿題を済ませて 22 時頃までには寝るように心がけていました。休日は友達と遊びにいたり、習い事をして過ごしていました。平日に課題は終わらせておくと楽しく休日を過ごせます。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

自分に合う塾に通うなら通ったほうがよいと思います。周りの人たちからもたくさんの刺激を受けられてより頑張れました。しかし、成績は自分の努力次第だと思うので、決して塾に行ったから成績が上がるという訳ではないと思います。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

高校1年次、2年次と変わらず休み時間には友だちと楽しく過ごしました。学校にいる時間はよい息抜きになっていました。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

LABO 活動で訪れたカンボジアでは「自分にできること」をすごく考えさせられ、高校1年次の自分の無力さをすごく感じました。その時により医師となって何かできたらいいなと感じました。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

サービスマーケティングで子ども食堂と保育園でのボランティア活動を行いました。その他に、看護師体験・クリスマスキャロル・馬事公苑清掃・世田谷公園清掃・ホスピア三軒茶屋でのボランティア活動も行いました。ボランティア活動はできる限りやっておくとよいです。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

英単語力です。英語の長文が読めるかどうかは単語力にあると思うので、早いうちからやっておくと受験期に英語にかける時間をだいぶ減らせると思います。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

やっても無駄だったと感じたものは一つもありません。LABO 活動も委員会もクラブ活動も仲間に出会えたり、自分の知らなかった世界を知ることができ、たくさんのことを高校時代に経験できたことはよかったです。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

高校生のうちにしかできないことを全力で取り組むことが、後になってよかったと思えると思います。将来の夢がある人はそれが難しくても一度は挑戦してみると後悔することはないと思うので、諦めずに挑戦してください。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

星薬科大学・薬学部・薬学科

（公募推薦入試）

### 質問1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

薬学部に興味をもったのは、中学3年次の冬頃からでした。高校2年次の一時期、理工学部に興味をもっていました。自分が将来本当にやりたいことは薬学だと気づいて最終的には高校2年次の冬には方向性を決めました。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

薬学部4校にそれぞれ2回行きました。

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

6年間通うので、通いやすいことを重視しました。単科大学なので、薬学教育に特に力を入れていることや、大学のアットホームな雰囲気、大学周辺の戸越銀座の雰囲気が気に入ったからです。

### 質問2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次：自宅→2時間

高校2年次：自宅→2時間

高校3年次：自宅→4時間 塾→週3日（夏休み後）

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

3年間、平日・休日はクラブ活動中心の生活でした。クラブ活動のない休日は友だちと出かけたり、平日にやり残した学校の宿題をやりました。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

人それぞれだと思います。私は高校3年生の夏から行き始めましたが、大手の塾ではなかったので、周りから刺激を受けるということはありませんでした。しかし、個別指導だったので、自分が苦手とするところを補強できたという点が良かったと思います。学校で習うことは基本的なことが多いので、それを疎かにしてしまうと、塾に行っても無意味になってしまいます。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

高校1年次、2年次と変わらず、学校では友だちと楽しくしゃべったり、学校行事に取り組んだり、受験生としてだけではなく、高校生として過ごしていました。友だちの悩みを聞いたり、自分が悩みを聞いてもらったりと、お互い多くのことを得ながら過ごせた時間だったと思います。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

高校1年次で化学を習い、化学が好きになったので高校2年次の私の研究では、化学の力を使った石鹼について調べました。薬学とは直接関係ないですが、面接でも聞かれたときに自信をもって答えられました。(薬学部も化学メインなので、化学という点では共通していたと思います)

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

高校2年次の夏休みに3日間児童施設で、高校3年次の夏休み前に2日間近所の夏祭りでボランティア活動をしました。どちらも小学生以下の子どもと接し、そこでわかったことは「相手の視点に立って話をしないと、言いたいことは伝わらない」ということです。将来、薬剤師として多くの人と接したいと思っているので、勉強では得られない貴重な体験ができたと思います。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

読書をする習慣です。読書ノート以外はほとんど本を読みませんでした。本を読むことで自分の世界が広がると思うし、読解力も養えると思います。国語が苦手なので、ずっと遠ざけていました。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

クラブ活動です。高校3年次の夏までやっていたので、夏休みも他の受験生より勉強時間は少なかったと思います。その分、空いた時間を大切にして時間の使い方が上手くなったと思います。今思えば、クラブ活動があったから受験勉強も頑張れたと思います。クラブ活動で得たことは私にとって宝物です。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

将来、この仕事に就きたい、この大学に進みたいなど具体的な目標や強い意志をもつことが大切だと思います。これは、受験勉強以外にもあてはまり、自分を信じて努力し続ければ、夢は叶うと思います。頑張るのも頑張らないのも自分自身なので、後悔する前にまずは頑張ってください。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

早稲田大学・商学部

（一般入試）

### 質問 1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

高校1年次から経営学やマーケティングを勉強したいという想いはありました。想いが強まったのは高校1年次、2年次の私の研究と早稲田大学のオープンキャンパスでの体験授業からだと思います。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

高校1年次、2年次で2校ずつ、4回くらいです。

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

オープンキャンパスや学園祭に行くとその学校の様子が分かるというのはよくある話ですが、実際に行くことでここに行きたいというイメージが私も強くなりました。

### 質問 2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次、2年次は2時間くらいだったかと思います。それより少なかったかもしれません。高校3年生になってからは学校がある日は3時間以上、夏休みは8時間以上、冬休みは12時間以上を目標に勉強していました。

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

高校3年生になってからは、空いた時間は勉強勉強という感じでした。朝、自習室に通うことにしていましたが、これは非常に役立ったと思います。受験勉強は、夜遅くまでというイメージがありますが、23時にはベッドに入るように心がけていました。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

チューターさんが志望校の相談にのったりしてくれるので、安心な部分もありました。日本史を教わっていた先生がとても素敵で、その言葉にやる気をいただいたり、勉強の面白さを教わったので、通ったほうがよいかと思います。塾には自習室もあり、「通う」ということが自分の中でリズムになったりもします。ただ塾に行くのは毎週のことになるので疲れなども考慮した方がよいのかもしれませんが。講座は、何でも取る必要はないと思います。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

朝は自習室に通い、休み時間はリラックスして過ごしていました。学校は友人に会えるし、息抜きできる時間だったかもしれません。お昼も一時期図書室に通い勉強してみたことがありましたが、お昼休みは、そこまで時間がとれませんでした。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

高校1年次の「購買意欲」、高校2年次の「地域活性化」は学びたいことを決める上で自分の興味をかき立てるきっかけとなりました。自分がやりたいことを、学びたいことを明確化することとこの大学に行きたいんだという気持ち・モチベーションも高まり、受験期の自分を支えてくれます。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

特にしていませんでした。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

高校は忙しいので今思えばやっておけばよかったと思うようなことは実際には難しいかもしれませんが、英検や漢検はある程度のところまで取得しておくのと役に立つかもしれません。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

「私の研究」を将来的に学びたいものと関連した内容を選んだことです。友人には全く関係のないものを選んだため、推薦入試の際、上手くアピールできなかつたと言っていた人もいました。推薦ではなくても、忙しい高校生活で与えられないと“研究”する機会はないので、もっと大切にしたらよかったという後悔もありました。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

勉強は「詰め」です。それは“詰め込む”という意味ではなく、忘れてしまったこと、間違えたことをその時着実に理解し、次間違えないことです。私も受験生として勉強するまで分かりませんでしたが、入試に必要なとされる知識を完全に網羅することは不可能です。だからこそ、やったことは間違えないようにすることです。それがきちんとできれば合格はつかめるはずですよ。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

東京大学・教養学部・文科Ⅲ類

（一般入試）

### 質問1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

ずっと国立大学に行きたいと考えていました。高校2年次の冬から一橋大学の社会学部を志望しました。その後、勉強の進捗状況等を考慮し、高校3年次の11月末から東京大学に志望校を変えました。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

高校1年次の夏休みに早稲田大学、高校3年次の春に一橋大学に行きました。

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

日本の最高学府である東京大学で国内外から集まる様々な経験や考え方をもつ学生や教授から刺激を受け、学問を究めるだけでなく人間として成長したいと思ったからです。また、進振り制度（大学1年次から2年間は教養学部で幅広く学び、その後専門分野を決める）も魅力的だと思いました。

### 質問2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次：基本は授業の復習。定期テスト前は平日2・3時間、休日は7・8時間。

高校2年次：留学先の高校の課題を適宜行いました。日本の勉強はあえてしませんでした。

高校3年次：平日5・6時間、休日10・11時間。

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

高校2年次に留学に行ったため、高校1年次では学校の勉強に加え、留学準備、さらに英語の検定試験（英検・TOEIC）、模擬国連などを行いました。高校3年次は、平日の放課後は塾の自習室を利用し、休日は塾や自室で勉強をしました。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

それぞれのレベル、志望大学、受験に必要な科目数によるとと思います。私は、高校2年で抜けた分の勉強を補いつつ受験勉強を進めなければならなかったため、高校3年次の4月から数学、夏前から日本史・英語を受講しました。個人的な意見ですが、高校2年生までは、学校の勉強をしっかりやっていたら十分だと思います。塾メインで学校の勉強をおろそかにして定期テストで悪い点を取ったりするのは本末転倒であるし、質問も学校の先生でよいと思います。高校3年次では、志望大学の演習やよりハイレベルな授業など必要に応じて塾の授業を取り入れると良いと思います。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

受験勉強メインの一年間を過ごしました。学校の行事などにはしっかり参加しました。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

中学3年次の「私の研究」で模擬国連に参加し、国際社会における問題（特に難民問題）に深く触れたことが国際問題や宗教と人との関わり方に興味を持つきっかけとなりました。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものをしましたか？

貧困家庭への物資支援・炊き出し準備の手伝いを行いました。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

高校は忙しいので今思えばやっておけばよかったと思うようなことは実際には難しいかもしれませんが、英検や漢検はある程度のところまで取得しておくに役に立つかもしれません。

#### ② 高校時代にやっていてよかったことは何ですか？

勉強習慣をつけることです。高校2年生までは、とにかく苦手を作らないこと、ためこまないこと、徹夜の暗記ではなく背景まで含めて確実に理解することが大事で、そのためには毎日少しずつでいいので、授業をよく思い出しながら復習すると良いと思います。その上で、クラブ活動や習い事、自分の好きな勉強や興味などに打ち込むことも大事だと思います。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

私はセンター試験一年前に帰ってきたとき、受験勉強はおろか高校2年次の学習内容さえ全く触れていませんでしたが、現役で東京大学に合格することができました。受験（特に一般受験）に臨む心構えとして大切だと感じたことは3つあります。①他人に惑わされないこと。②自分の現状、目指すレベルを客観的に見極め、何が必要かをよく考えること。③自分を信じ、自分のペースで進むこと。受験当日まであと一年、半年、一か月残っているのに諦めるのは早すぎます。粘り強く努力すれば最後の最後まで伸びます。頑張ってください。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

上智大学・総合人間科学部・社会福祉学科

（公募制推薦入試）

### 質問1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

社会福祉について学びたいと考え始めたのは、高校1年生あたりからです。実際に第一希望を上智大学にしたのは、高校3年次の4月です。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

上智大学（オープンキャンパス2回、説明会1回）  
昭和女子大学（3回）  
立教大学、首都大学東京（各1回）

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

社会福祉だけでなく、その周辺領域の学びができる他学科履修が豊富なところ。  
サークル活動でボランティア活動が充実しているところ。  
国際色豊かで自分の考えだけでなく、あらゆる人から刺激を受けられるところ。  
企業就職だけでなく専門職や国家資格への対策や環境が整っているところ。

### 質問2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次：平日2～3時間 休日4～5時間  
高校2年次：平日2～3時間 休日4～5時間  
高校3年次：平日4～5時間 休日6時間。

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

平日：日々の予習・復習、習い事の英語の勉強・検定試験の勉強をしていました。テスト前は少なくとも2～3週間前には計画を立てて勉強をしていました。  
休日：平日と同じことをしたり、平日に終わらなかった課題をやっていました。  
高校3年生になると、夏休み前までには特に学校での勉強に力を入れ、後期～入試までは主に公募制試験の勉強をしていました。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

塾と学校の両立ができるなら行った方がよいと思います。実際、私は高校3年間塾に行かず自学で勉強をしていました。塾に行っているとしても学校の勉強がおろそかになって、評定を下げてしまうのはもったいないと思うので、自分の生活や受験科目に合わせて考えるのが一番だと思います。一方、塾や予備校に通うことによって、周囲の状況などがわかりやすくなるので、利点も沢山あると思います。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

高校の時にしか経験できないことを存分にしようと思って過ごしていました。LABO 活動に参加してフィンランド研修へ行ったり、友達と模擬国連にも参加していました。もちろん、勉強も大切ですが、高校でしか体験できないことにチャレンジしてみようと心がけ生活することも大切だと思います。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

私の研究は、高校1・2年次にLABO 活動に参加したので、この活動は自分の進路に大きく影響しました。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

高校1年次：困窮者に対する炊き出し  
世田谷公園清掃

高校2年次：世田谷ふるさと区民まつり

ボランティア活動は、自分と関係ないことでも自発的に取り組んでみるのが大切だと思います。1～2年は、少ししかできませんでしたが、3年次に夏などにも大いに活用してみると良いと思います。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

リーダーシップ→前に立って指導することがとても苦手なので、その力を養っておけばよかったと思います。

英語力→もともと英語が苦手で、文法をしっかり習得するのに苦労しました。英検2級を習得するのにかなり時間がかかったので、英語力は文法とスピーキングに特に力を入れてやっていくべきだと思います。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

LABO 活動とボランティア活動です。LABO での研修や発表で自分の研究の結果や考察を深めることができ、これが将来の目標や夢に繋がりました。ボランティア活動も少ないながらも、高校生活の中でやってきて良かったなと思える体験ができました。これも福祉に携わりたいと思うようになった一つの大きなきっかけです。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

高校1年次からしっかりと評定のことを考えてもらいたいです。たとえ、一般受験するから、自分には評定が関係ないと思っても、どこでどう使える機会が出てくるかわかりません。だからこそ、塾や予備校で忙しい人もいるとは思いますが、学校での勉強も大切にしてみてください。また、友達や仲間を大切にしてください。自分が本当に苦しかったり、辛かったりする時に支えてくれるのは、友達や仲間です。こういう人たちがいるおかげで、刺激を受け、自分の士気を高めることもできると思います。だから、友人を大切にし、受験生と言えども、互いに思いやりをもって生活することが重要だと思います。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

早稲田大学・国際教養学部・国際教養学科

(AO入試)

### 質問1 大学・学部・学科に関して

① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

高校2年次の夏ごろです。

② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

上智大学2回  
慶應義塾大学1回  
早稲田大学2回

③ 進路先の決定理由は何ですか？

留学先で出会った先輩、昭和の先輩からお話を聞き、自分もここで学びたいと思ったからです。また、キャンパスに足を踏み入れた際にここに通いたいと強く感じたからです。さらに、他大学にはない施設の充実度、選択科目の多さ、留学サポート体制、個性あふれる教授に魅力を感じたからです。

### 質問2 学習について

① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

留学前：自宅1～2時間 塾2時間  
留学中：受験に関する勉強は一切しませんでした。  
高校2年次：自宅2～3時間 塾2時間  
高校3年次：自宅3～4時間 塾3時間

② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

平日：学校の授業を中心に生活していました。  
休日：TOEFL対策や学校の宿題、テスト勉強をしていました。

③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

早稲田大学のAO対策のためにいくつか授業を取っていましたが、自分が受ける大学の入試に特化したリクラスを受講することは有効的だと思います。一般入試も考えながら2つの塾に通っていたが、やる気を出すためにも集団塾に通うことは良いと思います。



### 質問3 高校3年生の生活について

① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

効率良く物事が終わるように心がけていました。また、休み時間と授業のメリハリをつけ、だらけることがないようにしていました。

② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

「私の研究」で扱ったテーマが進路を考える際に役に立ちました。

③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

老人ホームにおけるレクリエーション  
周辺地域のゴミ拾い活動

### 質問4 後輩に伝えたいこと

① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

数学・英語・国語をバランスよく学ぶ力です。この3教科はどの科目を学ぶにしても必要であり、日々の努力次第で結果が大きくわかれると思います。特に数学では留学中で不足している部分を補えるように努力し、英語ではより高いスコアを出せるように積み重ねておくべきだったと思います。

② 高校時代にやっていてよかったことは何ですか？

10か月のアメリカ留学：視野が広がり、何事にも挑戦しようと思うようになりました。  
模擬国連：他高校の生徒の熱意に刺激を受けました。

③ 在校生にメッセージをお願いします。

高校生という時間はとても限られているため、今一番自分がしなければならないことは何か、将来自分が行いたいことは何か常に考えながら生活することが大切だと思います。大学受験の方法が変化しているため、様々な活動に参加して経験を積むことも大切だとは思いますが、その目的や意義、理由をしっかりと考えることも必要だと思います。自分に自信をもって受験に立ち向かってください。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

明治大学・文学部・文学科英米文学専攻

（公募制推薦入試）

### 質問1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

高校3年生の5月頃から推薦やAOを考え始めて評定を上げることやTEAPの取得をはじめました。自分の成績などを考え、7月には出願する大学を決めました。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

明治大学にはオープンキャンパスで1回、文化祭で1回行きました。  
他大学は3校、各1回ずつ行きました。

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

出願条件を満たしていたからです。出願に向けて準備をする際、大学について調べたり、教授の論文を読んだことで明治大学に入りたいという気持ちが強まりました。

### 質問2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次：2～3時間  
高校2年次：2～3時間  
高校3年次：7～12時間

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

平日：部活動の後、疲れていたので最低限の勉強しかしていませんでした。  
休日：部活動がある日は、帰ってから少し仮眠をとってから平日行っている勉強に加えて中間などのテストに向けた勉強をしていました。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

他大学に進学したいと思う人は推薦が通らなかった時のことも考えて勉強をした方がよいと思います。私は、一般の予備校に通っていましたが、8～10月の推薦の準備が大変な時は、塾の受講に遅れが出てしまい両立が大変でストレスに感じてしまう部分もありました。しかし、一般も視野に入れていたので、塾に通うことでモチベーションアップにもなっていました。自分が一番合う場で勉強をすることが大切だと思います。推薦対策の塾に行かなくても先生方に添削していただいたり、面接練習をしていただくだけでも十分だと思います。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

部活を引退するまでは、下校後すぐ塾に行き閉館まで講座を受講していました。帰宅してから学校と塾の予習・復習、宿題を行っていました。どんなに疲れていても絶対学校に行って友達と話をすることを楽しみにしていました。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に生かされたことを教えてください。

高校1年次の「私の研究」で研究したことについて大学でさらに深く学びたいと思っています。明治大学文学部の自己推薦では高校時代に行った進路に関する研究や活動を重視しているため、レポートの提出や志望理由書に書くことでアピールすることができました。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

高校1年次・2年次はサービスマーケティングで動物愛護を選択していたので保護犬の世話のボランティアを行いました。高校3年次ではインターナショナルプレスクールで子どもたちの世話をしました。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

本を読む習慣です。志望理由書を書く際に文章が上手くまとめられなかったり、間違った言葉を使ってしまう。もっと活字に慣れることや多くの語彙知識を身につけておけばよかったと思います。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

部活動です。一般と推薦の対策の両立が大変で投げ出しそうになった時も部活動で身につけた根気力をいかしてやりきることができました。あとは、資格をとることです。出願条件に入っている大学も多いので、できる限りチャレンジしておいた方がいいと思います。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

推薦入試を楽だと思える人もいます。しかし、楽な試験はないし人によって合う入試の方法は違います。本当に入りたいという強い気持ちをもって勉強を続ければ絶対に良いことがあると思うので、他人の言葉を気にし過ぎず、自分の意志を強くもってがんばってください。辛いことも多いと思いますが、自分が選択したことで、それを支えてくれる人たちがいることを全体忘れず頑張ってください。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

慶應義塾大学・法学部・法律学科

(FIT 入試)

### 質問 1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

文理選択は高校 1 年次のときに社会系科目が好きなこともあり文系に決めました。学部・学科は高校 2 年次の初めに法学部法律学科に決めました。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

高校 2 年次：5 校

高校 3 年次：1 校

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

慶應義塾大学は全国からレベルの高い学生が集まってくるので、自分もその中に入ることで自らを高められると思ったからです。また、今まで行った活動をアピールできる AO 入試を採用していたのも一つの理由です。

### 質問 2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校 1・2・3 年次）

基本的に高校 1 年次、2 年次は自宅で 2 時間程度勉強をしていました。塾では、授業のみ参加し、高校 2 年次の夏は塾で勉強を一日 5 時間ほどしていました。高校 3 年次は、自宅で 4 時間、塾は授業のみ受講していました。

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

高校 1 年生から高校 2 年次の夏前までは、宿題やテストなど必要最低限のことしかやっていませんでした。高校 2 年次の夏から、塾を利用して受験勉強を少しずつ始めました。高校 3 年次からは推薦のために志望理由書のテーマなどの準備を始めました。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

自分の気持ち次第ですが、私は行ったほうが良いと思います。私は塾で苦勞を分かち合える最高の仲間ができたからこそ受験を乗り越えられました。また、塾は受験に関する情報を多く持っていることも魅力だと思います。



### 質問3 高校3年生の生活について

① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

家や塾では受験勉強に集中していましたが、学校では友達と話をしたり、笑ったりと楽しんで過ごしていました。私は、自分の進路についてあまり隠さず友達に話し、相談などもしていました。

② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

進路に直接関係しませんでした。書類に活動内容を入れました。

③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

高校1年次：世田谷公園清掃・サービスラーニング

高校2年次：クリスマスキャロル・サービスラーニング

### 質問4 後輩に伝えたいこと

① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

英語力と文章力です。英語はこの先ずっと必要な力なので、もっと真剣に取り組んでおけばよかったと思います。書類作成や小論文は文章力が問われます。すぐには身につかないので、日頃からきれいな文章が書けるように作文など丁寧に取り組んだ方がよいと思います。

② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

新聞を読んでいたことです。私は高校2年次から毎日新聞を読んでいたのも自然とその習慣が身につきました。法学部は試験本番も時事的知識が問われたので本当に良かったと思います。

③ 在校生にメッセージをお願いします。

「意志あるところに道は開ける」私はこの言葉が大好きです。私は受験日間近まで進路に迷っていました。しかし「この大学に行くんだ」という意志を固めてからはとにかく無我夢中で頑張りました。その努力が実って合格できたと思っています。だから、受験に限らず、大きな夢をもって、「自分は絶対にできる」という強い気持ちを忘れないでください。そして、その夢に向かって努力すれば道は開けると私は信じています。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

東邦大学・看護学部・看護学科

（一般入試）

### 質問1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

高校1年次に医療系の学部に入ることを決めました。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

高校1年次：3校

高校2年次：3校

高校3年次：4校

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

保健師になるためのカリキュラムはあるか

家から通える距離か

看護学部以外の学部とも関わる機会があるか（チーム医療を学びたかったため）

### 質問2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校1・2・3年次）

高校1年次：3～4時間

高校2年次：3～4時間

高校3年次：平日3～4時間 休日6～7時間

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

平日：高校1年次、2年次はLABOに入っていたので、LABO活動をしていることが多かったと思います。また、高校2年次は実行委員の仕事など他にもやることもあり、勉強との両立が大変でした。

休日：基本は勉強やその他の課題をしていました。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

勉強方法がいまいちよくわからない人、勉強習慣があまりついていない人、志望校合格のために情報がたくさんほしい人などは塾に行ったほうが良いと思います。また、私自身塾に行かず勉強していて、自分の勉強方法は間違っていないか不安になることが多かったので、自信をもって勉強するためには塾に行った方が安心感をもてると思います。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

私たちの学年は、朋友班活動の時間などがなくなった学年だったので、勉強時間を確保することができたと思います。一方、学校行事はすべてが最後になるので一つひとつを大切な思い出とするためにも楽しんで行くことを目標にしていました。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に生かされたことを教えてください。

私の研究・LABO活動：途上国と日本の医療の問題について調べたことから病気を防ぐことに力を注ぎたいと思い、保健師という仕事を見つけました。

昭和祭研究：進路には直接は繋がりませんでした。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

高校1年次：世田谷BOPの手伝い、タイでのボランティア、世田谷公園清掃

高校2年次：児童養護施設の子どもたちと遊ぶ、シャプラニール主催のボランティア

高校3年次：ボランティア活動は行わず、看護体験をしていました。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

自分のアピールポイントを3つくらい挙げられるようになっておく方が良いと思います。できれば進学する学部の求めている力が理想的です。「一日に〇〇をする」といった具体的な目標を立て、計画的に勉強をする習慣を身につけておくことも大切だと思います。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

勉強面：一日一回は英単語の勉強をすることです。あとは授業の予習です。

生活面：面接資料等で具体的なエピソードを書きやすくなるので、LABO活動、サービ斯拉ーニング、ボランティア活動です。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

今後、新入試が始まり、受験勉強の方法が大きく変わるかもしれませんが、一番大切なのは、志望校の傾向をつかんでおくことだと思います。そのために志望大学に通っているまたは合格した先輩に話を聴くとより自信をもって勉強できると思います。受験本番まで不安はあると思いますが、目標に向かって頑張ってください。



## ■ 進学先（大学・学部・学科）

国際基督教大学・教養学部

(AO 入試)

### 質問 1 大学・学部・学科に関して

#### ① いつ頃から志望する方向性を考えましたか？

中学生の頃から国際系の大学へ行きたいと決めていました。ICU を志望しはじめたのは、高校 1 年次くらいで、第一志望として決めたのは高校 3 年次の春くらいです。

#### ② オープンキャンパスには、何校または何回くらい行きましたか？

IUC (3 回)

法政大学、上智大学、学習院大学、明治大学 (各 1 回)

#### ③ 進路先の決定理由は何ですか？

自分の大学生活が具体的に想像できたという点です。また、自分になりたいと憧れる将来像に対して、ICU は努力次第で何にでもなれるという点に魅力を感じたからです。

### 質問 2 学習について

#### ① 自宅での学習時間・塾での学習時間はどれくらいですか？（高校 1・2・3 年次）

高校 1 年次：自宅で約 3 時間

高校 2 年次：自宅で約 3 時間

高校 3 年次：自宅 1 時間 塾 2 時間

#### ② 高校生活の主な過ごし方はどのようなものでしたか？（平日・休日）

クラブ活動中心の生活でした。

#### ③ 塾や予備校は行った方がよいと思いますか？

行くのであれば、第一志望の受験校に対応しているところを選ぶべきだと思います。私は、塾に入るか悩んだ時期もありましたが、宿題として課題を出されると、やらされている感があり、自分のペースでやりたかったため、塾に入るのをやめました。あと、クラブ活動もあったため、両立が不可能でした。



### 質問3 高校3年生の生活について

#### ① 学校生活はどのように過ごしていましたか？

受験モードというピリピリして、孤独で一人で戦うイメージがあると思います。実際に私もそのようなイメージをしていました。しかし、共に頑張ってくれる友達がいたため、情報を共有しながら一緒に受験を乗り越えることができました。話せる友達がいるとお互いに不安が和らぐと思います。私は、受験をマイナスには感じませんでした。集中するときは集中してやっていたのですが、ふざけている時間もたくさんありました。メリハリが大切だと思います。

#### ② 「私の研究」「昭和祭研究」が進路に活かされたことを教えてください。

中学3年次に私の研究全校発表の経験があったため、それを願書に書きました。ICUにはサービスマーケティングプログラムがあったため、個人的には、サービスマーケティングの活動がとても活かされました。

#### ③ 高校1年・2年を含め、ボランティア活動は、どのようなものを行いましたか？

サービスマーケティングの活動でゴミ拾いや学校内でチョークの再利用、使用済み歯ブラシの回収等を行いました。また、サービスマーケティングの活動とは別に国際系や環境系の活動がしたかったので、アジアの留学生とお祭りのゴミの分別を呼びかけ、回収する活動を行いました。

### 質問4 後輩に伝えたいこと

#### ① 高校時代に身につけておけばよかったと思うことは何ですか？

高校3年生になって、大人の話の大切さに気付かされました。卒業生の方の講演会や社会で活躍する方の講演会など、昭和には素晴らしい機会がたくさんあるので、一つひとつを大切にしていけることが重要です。あとは、様々なことを経験しておくことが大切です。私は、委員やキャプテンでもありませんでした。しかし、逆にそれが人生をより振り返ることができたと思うし、一つひとつの経験を自分のものにしようと、大切にできたのではないかと考えています。

#### ② 高校時代にやっていたよかったことは何ですか？

クラブ活動です。6年間クラブ活動を続けた先にこんなにも素晴らしい光景が広がっているとは思いませんでした。特にバスケットボールをやっていたので、自分と向き合うことができるようになった気がします。今回の受験は、6年間のバスケットボール人生にとっても助けられました。

#### ③ 在校生にメッセージをお願いします。

自分をアピールする材料は何でも大丈夫だということです。私は、委員やキャプテンなどをやっていなくて、アピールする材料がないと諦めていました。しかし、役職がないからこそ、自分の個性が出せたのではないかと考えています。なので、学級委員じゃないから無理だとかそういう固定観念をもたない方がいいと思います。きっとあなたには、他の人が経験したことがないような素晴らしいものを持っていると思います。全力で応援しています。



## — M. 巻末資料 —

- ◆ 特別協定校
- ◆ おもな指定校推薦一覧
- ◆ 進路学習参考図書を紹介



◆ 特別協定校（2022年度入試）

大学	学部	学科
昭和大学	医学部	
	歯学部	
	薬学部	
	保健医療学部	看護学科
		理学療法学科
作業療法学科		

◆ おもな指定校推薦一覧（2022年度入試）

大学	学部	学科
青山学院大学	地球社会共生学部	地球社会共生学科
学習院大学	国際社会科学部	国際社会科学科
昭和薬科大学	薬学部	薬学科
上智大学	文学部	国文学科
		英文学科
	総合人間科学部	看護学科
	法学部	法律学科
	総合グローバル学部	総合グローバル学科
	理工学部	物質生命理工学科
情報理工学科		
成蹊大学	経済学部	経済経営学科
	法学部	法律学科
		政治学科
	文学部	英米文学科
		現代社会学科
	理工学部	物質生命理工学科
		システムデザイン学科
情報科学科		
成城大学	経済学部	経済学科
	法学部	
津田塾大学	学芸学部	国際関係学科
東京理科大学	理学部	数学科
	理工学部	情報科学科
東京医療保健大学	東が丘・立川看護学部	看護学科
東京薬科大学	薬学部(女子部)	
法政大学	文学部	英文学科
	グローバル教養学部	グローバル教養学科
明治大学	理工学部	建築学科
国立音楽大学	音楽学部	演奏・創作学科
		音楽文化教育学科
洗足学園音楽大学	音楽学部	
武蔵野音楽大学	音楽学部	演奏学科
		音楽総合学科



## ◆ 進路学習参考書図書の紹介

内容	書名	編著者名	発行者(出版社)	発行年
教養	自分探しと楽しさについて	森博嗣	集英社新書	2011.2
	読書の技法	佐藤優	東洋経済	2012.8
	池上彰の18歳からの教養講座	池上彰	日経ビジネス文庫	2015.11
	ミライの授業	瀧本哲史	講談社	2016.6
	情報を活かす力	池上彰	PHPビジネス新書	2016.7
	勉強の哲学 来るべきバカのために	千葉雅也	文藝春秋	2017.4
	視点をずらす思考術	森達也	講談社現代新書	2008.2
文学・歴史・哲学・語学・心理	教養としての言語学	鈴木孝夫	岩波新書	1996.9
	じぶん・この不思議な存在	鷲田清一	講談社現代新書	1996.7
	それでも、日本人は「戦争」を選んだ	加藤陽子	朝日出版社	2009.7
	これからの「正義」の話をしよう	マイケル・サンデル	早川書房	2011.11
	14歳の君へ どう考えどう生きるか	池田晶子	毎日新聞社	2006.12
	新・戦争論 僕らのインテリジェンスの磨き方	池上彰・佐藤優	文春新書	2014.11
	中国化する日本 増補版 ―日中「文明の衝突」一千年史―	與那覇潤	文春文庫	2014.4
	自由のこれから	平野啓一郎	ベスト新書	2017.6
	今こそアレントを読み直す	仲正昌樹	講談社現代新書	2009.5
	言語からみた民族と国家	田中克彦	岩波現代文庫	2001.9
	しんがりの思想―反リーダーシップ論―	鷲田清一	角川新書	2015.4
	暇と退屈の倫理学	國分功一郎	太田出版	2015.3
	昭和史	半藤一利	平凡社ライブラリー	
寝ながら学べる構造主義	内田樹	文春新書	2002.6	
社会・情報・国際・法律・政治・経済・環境	ポピュリズムへの反撃―現代民主主義復活の条件	山口二郎	角川oneテーマ21	2010.10
	憲法はむずかしくない	池上彰	ちくまプリマー新書	2005.11
	国家は僕らをまもらない	田村理	朝日新書	2007.4
	思考停止社会―「遵守」に蝕まれる日本	郷原信郎	講談社現代新書	2009.2
	独立国家のつくり方	坂口恭平	講談社現代新書	2012.5
	(株) 貧困大国アメリカ	堤未果	岩波新書	2013.6
	就活エリートの迷走	豊田義博	ちくま新書	2010.12
	ブラック企業	今野晴貴	文春新書	2012.11
	スラム化する日本経済	浜矩子	講談社プラスアルファ新書	2009.3
	反貧困―「すべり台社会」からの脱出	湯浅誠	岩波新書	2008.4
	<地域人>とまちづくり	中沢孝夫	講談社現代新書	2003.4
	この世でいちばん大事な「カネ」の話	西原理恵子	角川文庫	2011.6
	フラット化する世界(増補改訂版上・下)	T. フリードマン	日本経済新聞出版社	2008.1
	競争と公平感―市場経済の本当のメリット	大竹文雄	中公新書	2010.3
	日本はどう報じられているか	石澤靖治	新潮新書	2004.1
	ODA(政府開発援助)―日本に何ができるか	渡辺利夫・三浦有史	中公新書	2003.12
	人間の安全保障	アマルティア・セン	集英社新書	2006.1
	子どもの貧困―日本の不公平を考える	阿部彰	岩波新書	2008.11
	現代の貧困―ワーキングプア/ホームレス/生活保護	岩田正美	ちくま新書	2007.5
	生きさせろ!―難民化する若者たち	雨宮処凛	ちくま文庫	2010.11
	少子社会日本―もうひとつの格差のゆくえ	山田昌弘	岩波新書	2007.4
	ベネディクト・アンダーソン グローバリゼーションを語る	梅森直之	光文社新書	2007.5
	「里」という思想	内山節	新潮選書	2005.9
	「かわいい」論	四方田犬彦	ちくま新書	2006.1
多文化世界	青木保	岩波新書	2003.6	
働くということ―グローバル化と労働の新しい意味	ロナルド・ドーア	中公新書	2005.4	
グローバリゼーションと文化変容―音楽、ファッション、労働からみる世界	遠藤薫	世界思想社	2007.2	
新平等社会―「希望格差」を超えて	山田昌弘	文春文庫	2009.2	

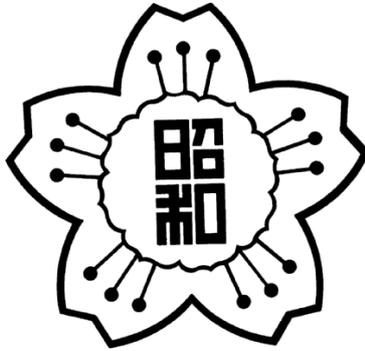


内容	書名	編著者名	発行者(出版社)	発行年	
社会・情報・国際・法律・政治・経済・環境	ほんとうの環境問題	池田清彦・養老孟司	新潮社	2008.3	
	環境問題の杞憂	藤倉良	新潮新書	2006.11	
	平和主義とは何か	松元雅和	中公新書	2013.3	
	戦争って、環境問題と関係ないと思ってた	田中優	岩波ブックレット	2006.5	
	世界の森林破壊を追う—緑と人の歴史と未来	石弘之	朝日選書	2003.4	
	持続可能な福祉社会—「もうひとつの日本」の構想—	広井良典	ちくま新書	2006.7	
	弱者の居場所がない社会—貧困・格差と社会的包摂—	阿部彩	講談社現代新書	2011.12	
	絶望の国の幸福な若者たち	古市憲寿	講談社+α文庫	2011.9	
	困ってるひと	大野更紗	ポプラ文庫	2012.6	
	さとり世代—盗んだバイクで走りださない若者たち—	原田曜平	角川oneテーマ21新書	2013.10	
	日本文化の論点	宇野常寛	ちくま新書	2013.3	
	データサイエンティスト—データ分析で会社を動かす知的仕事人—	橋本大也	ソフトバンク新書	2013.8	
	無頼化した女性たち	水無田氣流	亜紀書房	2014.2	
	ヤンキー化する社会	斎藤環	角川oneテーマ21新書	2014.3	
	若者はなぜ「決めつける」のか 壊れゆく社会を生き抜く思考法	長山靖生	ちくま新書	2015.2	
	日本に絶望している人のための政治入門	三浦瑠麗	文春新書	2015.4	
	ぼくらの民主主義なんだぜ	高橋源一郎	朝日新書	2015.5	
	佐藤優が5人のゲストとナビゲート! 90分でわかる日本の危機	佐藤優	扶桑社新書	2015.9	
	教育・発達	貧困世代 社会の監獄に閉じ込められた若者たち	藤田孝典	講談社現代新書	2016.3
		東京どこに住む? 住所格差と人生格差	速水健朗	朝日新書	2016.5
結婚と家族のこれから共働き社会の限界		筒井淳也	光文社新書	2016.6	
問題は英国ではない、EUなのだ 21世紀の新・国家論		エマニュエル・トッド	文春新書	2016.9	
隷属なき道AIとの競争に勝つベーシックインカムと一日三時間労働		ルトガー・ブレグマン	文藝春秋	2017.5	
未来の年表人口減少日本でこれから起きること		河合雅司	講談社現代新書	2017.6	
魔法の世紀		落合陽一	PLANETS	2015.11	
「個性」を煽られる子どもたち		土井隆義	岩波ブックレット	2004.9	
学校って何だろう 教育の社会学入門		苅谷剛彦	ちくま文庫	2005.12	
下流志向—学ばない子どもたち働かない若者たち		内田樹	講談社文庫	2007.1	
理科が危ない 明日のために		江沢洋	新曜社	2001.6	
子どもと学校		河合隼雄	岩波新書	1992.2	
科学の考え方・学び方		池内了	岩波ジュニア新書	1996.6	
ドキュメント高校中退—いま、貧困がうまれる場所		青砥恭	ちくま新書	2009.10	
わかりあえないことから		平田オリザ	講談社現代新書	2012.10	
フィンランドの教育力		リッカ・パッカラ	学研新書	2008.11	
「つなみ」の子どもたち		森健	文藝春秋	2011.12	
キャリア教育のウソ		児美川孝一郎	ちくまプリマー新書	2013.6	
欲ばり過ぎるニッポンの教育		苅谷剛彦・増田ユリヤ	講談社現代新書	2006.11	
「学び」から逃走する子どもたち		佐藤学	岩波ブックレット	2000.12	
教育改革のゆくえ—国から地方へ	小川正人	ちくま新書	2010.2		
教育不信と教育依存の時代	広田照幸	紀伊國屋書店	2005.3		
最終講義—生き延びるための6講	内田樹	技術評論社	2011.6		
ゆとり教育から個性浪費社会へ	岩木秀夫	ちくま新書	2004.1		
なぜ「大学は出ておきなさい」と言われるのか—キャリアにつながる学び方	浦坂純子	ちくまプリマー新書	2009.1		
日本人のしつけは衰退したか	広田照幸	講談社現代新書	1994.4		
保育園義務教育化	古市憲寿	小学館	2015.7		
友だち地獄—「空気を読む」世代サバイバル—	土井隆義	ちくま新書	2008.3		
学力低下論争	市川伸一	ちくま新書	2002.8		



内容	書名	編著者名	発行者(出版社)	発行年	
理・数・工学・農学	化学が面白くなる実験—なぜを探し、なぜに答える—	長谷川正	菱華房	1997.11	
	ロウソクの科学	ファラデー・三石巖訳	角川文庫	2012.6	
	生涯最高の失敗	田中耕一	朝日選書	2003.9	
	メタルカラーの時代シリーズ	山根一真	小学館文庫	1997.12~	
	ウェブ社会をどう生きるか	西垣通	岩波新書	2007.5	
	環境の科学 三訂版 われらの地球、未来の地球	山口勝三・菊地立・斎藤絃一	培風館	2008.4	
	分散型エネルギー入門	伊藤義康	講談社ブルーバックス	2012.5	
	生物と無生物のあいだ	福岡伸一	講談社現代新書	2007.5	
	エネルギー進化論—「第4の革命」が日本を変える	飯田哲也	ちくま新書	2011.12	
	ルリボシカミキリの青—福岡ハカセができるまで	福岡伸一	文春文庫	2012.9	
	物理学者、ゴミと闘う	広瀬立成	講談社現代新書	2007.4	
	科学者が人間であること	中村桂子	岩波新書	2013.8	
	擬似科学入門	池内了	岩波新書	2008.4	
	「フクシマ」論—原子カムラはなぜ生まれたのか	開沼博	青土社	2011.6	
	科学の現在を問う	村上陽一郎	講談社現代新書	2000.5	
	科学の方法	中谷宇吉郎	岩波新書	1958.6	
	明日、機械がヒトになるロボ最新科学	海猫沢めろん	講談社現代新書	2016.5	
	ゾウの時間ネズミの時間サイズの生物学	本川達雄	中公新書	1992.8	
	医療・看護・薬学・福祉	医療の限界	小松秀樹	新潮新書	2007.6
		インフォームド・コンセント医療現場における説明と同意	水野肇	中公新書	1990.1
先端医療のルール人体利用はどこまで許されるのか		ぬで鳥次郎	講談社現代新書	2001.12	
高齢者医療と福祉		岡本祐三	岩波新書	1996.8	
死をどう生きたか私の心に残る人びと		日野原重明	中公新書	1983.3	
ボランティアナースが綴る東日本大震災		全国訪問ボランティアナースの会キャンナス	三省堂	2012.2	
誰が日本の医療を殺すのか—「医療崩壊」の知られざる真実		本田宏	洋泉社新書	2007.9	
救命		海堂尊	新潮社	2011.8	
崩壊する日本の医療		鈴木厚	秀和システム	2006.11	
がんばらない		鎌田實	集英社文庫	2003.6	
寄りそ医		中村伸一	メディアファクトリー	2011.8	
「いのち」とはなにか—生命科学への招待		柳澤桂子	講談社学術文庫	2000.12	
石巻赤十字病院の100日間		由井りょう子・石巻赤十字病院	小学館	2011.9	
風になる—自閉症の僕が生きていく風景		東田直樹	ビッグイシュー日本	2015.9	
当事者主権		中西正司・上野千鶴子	岩波新書	2003.1	
介護保険—地域格差を考える		中井清美	岩波新書	2003.1	
福祉NPO—地域を支える市民起業		洪川智明	岩波新書	2001.6	
「弱者救済」の幻影—福祉に構造改革を		櫻田淳	春秋社	2002.1	
福祉を変える経営—障害者の月給1万円からの脱出		小倉昌男	日経BP社	2003.10	
ケアの社会学—当事者主権の福祉社会へ—		上野千鶴子	太田出版	2011.8	
死にたくないんですけど—iPS細胞は死を克服できるか—	八代嘉美・海猫沢めろん	ソフトバンク新書	2013.9		
人間にとって健康とは何か	斎藤環	PHP新書	2016.5		
食物・栄養・スポーツ・美術	服部幸應のはじめての食育	服部幸應	「笑う食卓」編集室編集	2007.6	
	月刊切抜き速報食と生活版		二ホン・ミック		
	スポーツ文化を学ぶ人のために	井上俊・亀山佳明	世界思想社	1999.10	
	生涯スポーツの理論と実際—豊かなスポーツライフを実現するために	日下裕弘・丸山富雄・加納弘二	大修館書店	2010.3	
	底力	三浦知良	PHP研究所	2011.10	
	上昇思考	長友佑都	角川書店	2012.5	
	スポーツは「良い子」を育てるか	永井洋一	NHK生活人新書	2004.6	
	スポーツマンシップを考える	広瀬一郎	ベースボールマガジン社	2005.4	
	野茂英雄—日米の野球をどう変えたか	ロバート・ホワイティング	PHP新書	2011.1	
	イメージを読む【美術史入門】	若桑みどり	ちくま学芸文庫	2005.4	
	美学への招待	佐々木健一	中公新書	2004.3	
	20世紀美術	高階秀爾	ちくま学芸文庫	1993.4	
	名画を見る眼	高階秀爾	岩波新書	1969.10	





年	組	番	氏名
---	---	---	----